

# 保健管理センター年報

第 3 号

1978.3

岐阜大学保健管理センター

## ま え が き

ここに、保健管理センター年報第3号をお届けします。本学では昭和49年10月に保健管理センターが開設され、3年半を経過したにすぎません。にもかかわらずその間、田中保健管理医、学校医の諸先生や保健婦さん達の日々並々な御努力により、また学内関係教官各位の多大な御助力により、現在一応骨組みは出来上がった様に思われる。換言すれば、大学としての保健管理センター業務のあるべき姿の模索が、再び具体的にとりあげられるべき時が来たとも考えられる。また本学では、数年後には諸学部の学舎統合が見込まれているので、それとのかねあいが問題となる。即ち、従来地区毎におかれている保健室業務を統合し、センター業務として、より効率のよい保健管理業務が行える体制を具体的に、早期に確立しなければならない。スタッフと施設が限られている現時点では、理想にほど遠いものに止まらざるを得ないかも知れないが、まず今出来得ることから早速行動にうつし、徐々にあるべき姿に近づきたいものである。

今年度の仕事を省みると、学生や職員の肝機能チェックの重要性や、貧血や肥満の対策、精神衛生面での指導の必要性が再認識された。血液学的検査、生化学的検査の必要性も再認識されたわけである。そのためにも、統合時の本管理センターの施設の充実と共にスタッフの充実、特に早急に内科系の専任保健管理医を確保し、精神面と身体面という保健管理のための車の両輪が力強く早く始動されることを望んで止まない。

集団検診で発見された何らかの異常が、単に統計に止ってはいけないのであって、それが個人個人の健康管理と治療にも反映されねばならない。また受診者個人個人について、年代を追ったデータの集積が、その個人個人に将来起るかも知れない疾患の予防や治療に応用され、反映される素となる様、そんな息の長い仕事も保健管理センターの重要な仕事の一つでなければならないとも考えられる。

昭和53年3月

岐阜大学保健管理センター所長

三 浦 清

# 目 次

ま え が き .....	所長 三 浦 清	
I 保健管理センター設置後の経緯（センター年報第1号その後） .....		1
II 研究報告 .....		3
肥満学生の調査（I）—昭和52年度入学生の定期健康診断から— 岐阜大学保健管理センター 中 尾 けさじ ほか .....		3
健康調査とインタビュー面接の検討 岐阜大学保健管理センター 中 尾 けさじ ほか .....		11
岐阜大学長良地区における肝機能検査結果 岐阜大学医学部附属病院講師（第一内科） 清 水 勝 ほか .....		23
昭和52年度教育学部卒業予定者の貧血調査 岐阜大学教育学部 山 中 栄 子 ほか .....		28
III 保健管理センターの事業等 .....		37
1) 救急処置講習会・性病についての講演会 .....		37
2) 保健セミナー .....		37
3) 体育系サークル部員の健康管理についてのアンケート集計結果 .....		39
IV 定期健康診断等 .....		44
1) 昭和52年度健康診断等計画について .....		44
2) 定期健康診断について .....		45
a) 実施要項 .....		45
b) 昭和52年度定期健康診断実施計画 .....		47
c) 昭和51・52年度（昭和50・51年度）定期健康診断実施結果 .....		50
3) 昭和51・52年度卒業予定者・運動部学生の健康診断 .....		56
4) 昭和50・51年度特別定期健康診断 .....		59

5)	入学志願者の健康診断 .....	61
a)	昭和52年度岐阜大学入学者選抜時の健康診断実施要領 .....	61
b)	昭和52年度岐阜大学入学者選抜時の健康診断判定基準 .....	61
c)	昭和51・52年度入学選抜時の健康診断精密検査受診結果 .....	62
6)	UPIテストによる新入学生個別面接 .....	64
7)	昭和50・51年度休学・退学者数調 .....	66
8)	保健室等利用状況 .....	67
a)	昭和51・52年度保健管理センター利用状況 .....	68
b)	昭和50・51年度保健室利用状況 .....	69
V	保健管理センター規則等 .....	75
1)	岐阜大学保健管理委員会規則 .....	75
2)	岐阜大学保健管理センター規則 .....	76
3)	保健管理機構図 .....	78
4)	学医及び学生相談室員の相談日割 .....	79
5)	関係職員 .....	80
6)	建物平面図 .....	82
7)	主要設備備品 .....	83
(附)	学生教育研究災害傷害保険加入状況及び保険適用一覧	

## I 保健管理センター設置後の経緯(センター年報第1号その後)

51. 2. 1 保健管理センター学生相談室員(非常勤)小島峯雄氏の後任に松友啓典氏を委嘱
- 〃 4. 1 昭和51年度保健管理センター運営委員会委員を委嘱(教育学部教授中井幹氏、同教授長沢弘氏、同教授丸井澄子氏、医学部教授時田喬氏、工学部助教授藤井洋氏、農学部教授岡田幸郎氏、教養部教授田中幸穂氏、同教授石黒鈺二氏、同教授山添鉄弥氏、工業短期大学部助教授伊藤融氏)
- 〃 4 保健管理センター広報パンフを入学合格者に配布
- 〃 4. 1 0 保健管理センター年報(創刊号)を刊行、配布
- 〃 5. 1 昭和51年度保健管理センター運営委員会委員を委嘱(医学部教授三浦清氏)
- 〃 5. 2 1 昭和51年度第1回保健管理センター運営委員会開催(昭和51年度事業計画について、昭和51年度保健管理センターの予算について)
- 〃 6. 1 昭和51年度学生相談室員(非常勤)を委嘱(教育学部教授長澤弘氏、同教授丸井澄子氏、医学部教授難波益之氏、教養部教授石黒鈺二氏、同教授山添鉄弥氏、医学部附属病院講師安江隆夫氏、同講師深沢俊男氏、同助手菊地正邦氏)
- 〃 7. 1 5 昭和51年度第1回保健管理委員会開催(保健管理センター所長の選考について)
- 〃 9. 1 6 同 第2回保健管理委員会開催(同上)
- 〃 10. 1 保健管理センター所長に早瀬正二氏(医学部教授)再任
5. 1 保健管理センターしおりを作成配布
- 〃 1. 2 0 昭和51年度第3回保健管理委員会開催(保健管理センター所長の選考について)
- 〃 2. 1 7 同 第4回保健管理委員会開催(同上)
- 〃 3・3 0 保健管理センターと長良保健室との間仕切模様替竣工
- 〃 4. 1 昭和52年度保健管理センター運営委員会委員を委嘱(教育学部教授草野愛子氏、工学部助教授清水宏晏氏、農学部教授上野良光氏、教養部教授稲田俊志氏、工業短期大学部教授下田正夫氏)
- 〃 4. 2 保健管理センター所長早瀬正二氏の退官に伴う後任に医学部教授高橋善弥太氏就任

52. 5. 1 昭和52年度保健管理センター学生相談室員（非常勤）を委嘱（教育学部教授長澤弘氏、同教授丸井澄子氏、同教授草野愛子氏、医学部教授難波益之氏、教養部教授石黒鈇二氏、医学部附属病院講師清水勝氏、同講師加藤俊彦氏、同助手菊地正邦氏）
- “ “ “ 昭和52年度保健管理センター運営委員会委員を委嘱（上記学生相談室員のほか医学部教授森俊二氏）
- “ 5. 4 保健管理センター年報（第2号）を刊行、配布
- “ 5. 20 昭和52年度第1回保健管理センター運営委員会開催（保健管理センターの運営について、保健管理センターの事業について、健康診断等計画について、保健管理センターの予算について）
- “ 10. 25 昭和52年度第1回保健管理委員会開催（保健管理センター所長の選考について）
- “ 11. 14 同 第2回保健管理委員会開催（同上）
- “ 12. 1 保健管理センター所長高橋善弥太氏の辞任に伴う後任に医学部教授三浦清氏就任
- “ 12. 14 救急処置講習会（教育学部13番教室）  
—蘇生術・人工呼吸法—  
講師 岐阜大学医学部教授 山本道雄氏
- “ “ “ 性病に関する講演会（教育学部13番教室）  
講師 岐阜大学医学部助手 坂 義人氏
- “ 12. 17 保健セミナー開催（農学部8番教室）  
—精神衛生について—  
講師 岐阜大学保健管理センター助教授 田中 實
53. 3. 14 保健管理センター業務打合せ会

## II 研究報告

### 肥満学生の調査 (I)

—昭和52年度入学生の定期健康診断から—

岐阜大学保健管理センター	中尾 けさじ
岐阜大学厚生課	丹羽 美穂子
岐阜大学教育学部	山中 栄子
岐阜大学医学部附属病院第1内科	清水 勝
岐阜大学保健管理センター	田中 實

#### はじめに

高令者において肥満は、高血圧、心疾患、糖尿病、脳血管障害の予防上重要な問題である。一方若年令層、特に学童における肥満が問題になっており、その一部は成人の肥満症に移行するものと思われる。<sup>(1)</sup>我々は、大学生の肥満状態を知るために、昭和52年度岐阜大学入学生について、健康診断時身長、体重の測定、血液学的検査、健康調査を施行したので若干の結果を報告します。

#### 対象および方法

対象は昭和52年度岐阜大学入学生945名であり、うち男724名、女221名であった。<sup>(2)</sup>945名全員を対象に入学直後健康管理カードにより健康状態をアンケート調査した。また、春の健康診断時、身長、体重の測定を施行し肥満度を求めた。肥満度はBroca指数の桂氏変法により標準体重を計算し、実測値と標準体重との差の百分比とした。肥満

度 $-10\% < \sim \leq +10\%$ を正常群とし、 $+10\% < \sim \leq +20\%$ を過体重群、 $+20\% <$ を肥満群とした。この肥満群について内科的診察、血圧測定、検尿、肝機能検査（空腹時採血）脂質検査、健康・生活調査および面接を施行した。

## 結 果

健康診断（計測）受検学生は男724名中690名（95.3%）、女221名中215名（97.3%）であった。昭和52年度入学生の身長は男で平均170.1cmであり、37.5%の学生が165.1~170.0cmに属し、次いで29.6%の学生が170.1~175.0cmに属した。女では平均157.3cmであり、41.9%の学生が155.1~160.0cmであり次いで26.5%の学生が160.1~165.0cmであった。（表1、図1）、体重は男で平均60.3kgであり、29.0%の学生は55.1~60.0kgであった。女では平均体重50.3kgであり、40.0%の学生は45.1~50.0kgであった。（表1、図2）

肥満度 $+10\% \sim +20\%$ の過体重群は男42名（6.1%）、女10名（4.7%）であり、 $+20\%$ を超える肥満群は男19名（2.9%）、女1名（0.5%）であった。（表2）

肥満度20%以上を対象に精査を施行した。

肥満学生20名中13名（65%）受診し、結果は表3のごとくである。最高血圧140mmHg、最低血圧90mmHg以上の高血圧者はみられなかったが、5名は最高血圧が140mmHg以上であった。検尿では1名蛋白尿陽性であり経過観察中である。肝機能検査ではGOT、GPT、異常者3名、 $\beta$ -リポタンパク、トリグリセライド、総コレステロール、F、F、Aなどに異常値を認めたものは、6名であった。

入学時の健康調査の結果は表4、表5に示すごとく、既往歴、自覚症状ともに肥満度が $-20\%$ 以下の群、 $-20\% \sim +20\%$ の群、 $+20\%$ 以上の群で比較してみても特に変わりはない。

肥満学生を対象として行った健康生活アンケート調査では、自宅通学者が7名（54%）

寮1名（8%）、間借り5名（38%）であった。表6に示すように、肥満傾向になったのは、8名（61.5%）が幼児時代から小学校時代にかけてであり、高校時代および浪人時代は4名（30.8%）であった。また日常の嗜好品はコーヒーが大部分の肥満学生に愛好されていた。

## 考 察

今回行った昭和52年度岐阜大学入学生の健康診断の結果、肥満度 $+20\%$ 以上の学生



は男19名、女1名発見された。この肥満学生について、さらに健康・生活調査、各種検査および内科診察、面接を行った。まず肥満学生は、すでに幼児期あるいは小学校時代に肥満ないし肥満傾向を示しており、小児期の肥満が多くは成人の肥満に移行するという諸家の意見に一致している。今回の健康・生活調査では、既往歴、自覚症状では特徴的なものはみられなかった。日常食生活上では特に好き嫌いの食品はなく、また自宅通学者が比較的<sup>(3)</sup>多かったことは永見氏の報告と一致している。また肥満学生ではコーヒーを嗜好する傾向が強かった。

肝機能検査および脂質検査では、GOT、GPTの異常、脂質の異常値を示すものがあり脂肪肝の傾向がみられた。

肥満は高令者群で、高血圧、心疾患、糖尿病、脳血管障害併発の危険があり、青年期からの体重コントロールが重要である。大学生の肥満についてはすでにすぐれた業績がみられるが、我々は上記のごとき各種疾患に対する予防のために学生時代から体重をコントロールする必要があると考え、昭和52年度入学生の肥満度について調べた。現在これらの学生に対して保健管理センターで日常生活指導を行っているが、一部の学生を除き体重の低下を認めている。さらに、これら肥満学生全員に面接し、その後も随時面接を重ねているので、これら学生の精神衛生的な考察及び詳細な経過については別の機会に発表する予定である。

### おわりに

昭和52年度岐阜大学入学生の肥満について調べたので報告した。

この調査及び集計に当っては、厚生課保健係の協力を得ましたので、ここに深く感謝いたします。

### 文 献

- (1) 松浦千文、川越和子、重信卓三、中丸澄子、松下弘、栗本幸男：大学生の肥満に関する研究(1)疫学的分析と高度肥満学生の問題点、  
保健の科学 19、769、1977、
- (2) 健康管理カード、岐阜大学保健管理センター年報、創刊号、22、1976、
- (3) 永見春美：学生の生活環境、特に肥満学生を中心にして、第15回全国大学保健管理研究集会、東海北陸地方部会研究集会報告書、21、1977、

表1. 昭和52年度入学生の身長、体重

身長 (cm)			体重 (kg)		
区分	男女別		区分	男女別	
		男			女
140.1~145.0			35.1~40.0		4
145.1~150.0			40.1~45.0	2	26
150.1~155.0	1	51	45.1~50.0	29	86
155.1~160.0	17	90	50.1~55.0	146	70
160.1~165.0	98	55	55.1~60.0	200	19
165.1~170.0	259	5	60.1~65.0	173	9
170.1~175.0	204		65.1~70.0	88	1
175.1~180.0	92		70.1~75.0	32	
180.1~185.0	16		75.1~80.0	12	
185.1~190.0	3		80.1~85.0	3	
190.1~195.0			85.1~90.0	3	
195.1~200.0			90.1~95.0	2	
計		690 215	計	690 215	

表2. 性別肥満度分布

肥満度	性	男	女	計
$\leq -30\%$		1 (0.1)	0	1 (0.11)
$-30\% < \sim \leq -20\%$		11 (1.5)	1 (0.5)	12 (1.33)
$-20\% < \sim \leq -10\%$		192 (27.8)	38 (17.6)	230 (25.41)
$-10\% < \sim \leq 0\%$		295 (42.8)	102 (47.4)	397 (43.87)
$0\% < \sim \leq +10\%$		130 (18.8)	63 (29.3)	193 (21.33)
$+10\% < \sim \leq +20\%$		42 (6.1)	10 (4.7)	52 (5.75)
$+20\% < \sim \leq +30\%$		13 (2.0)	0	13 (1.44)
$+30\% < \sim \leq +40\%$		4 (0.6)	1 (0.5)	5 (0.55)
$+40\% <$		2 (0.3)		2 (0.22)

註 ( ) は%

$$\text{肥満度} = \left\{ \frac{\text{体重}}{(\text{身長} - \frac{\text{体重}}{100}) \times 0.9} - 1 \right\} \times 100$$

表 3 . 昭和 5 2 年度入学生肥満者の検査結果

項目	症例 1 19才 男	症例 2 21才 男	症例 3 19才 男	症例 4 19才 男	症例 5 19才 男	症例 6 19才 男	症例 7 19才 男	症例 8 20才 男	症例 9 19才 男	症例 10 19才 男	症例 11 20才 男	症例 12 19才 男	症例 13 20才 男
血 庄 (最高/最低)	136/76	128/68	154/78	134/60	152/70	146/82	130/60	116/76	114/52	140/80	126/88	154/88	130/78
検 尿	6	6	7	7	6	8		7	6	6	7	7	6
P、H	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ブドウ糖	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
蛋 白	-	-	-	-	±	-	-	-	-	-	-	-	-
潜 血	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ケトン体	-	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-
ビリルビン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1 総タンパクTP g/dℓ	74	74	84	80	81	72	80	72	72	79	82	84	81
2 アルブミンAib g/dℓ	44	44	47	49	47	45	47	45	45	49	46	48	44
3 総ビリルビンBiI L <sub>dt</sub> <sup>mg/dℓ</sup>	05	08	15	14	10	11	07	17	06	06	09	12	05
4 アルカリ フォスファターゼIU <sub>dt</sub> <sup>phos</sup>	430	540	580	350	360	490	700	510	600	41.0	520	650	410
5 LDH IU/ℓ	270	207	249	399	291	228	180	189	215	219	363	294	184
6 GOT IU/ℓ	21	17	30	18	28	21	26	18	17	68	39	21	52
7 GPT IU/ℓ	27	11	38	28	53	20	24	19	14	122	48	30	68
8 コリンエステラーゼChE <sub>dt</sub> <sup>PH</sup>	137	122	132	142	132	086	091	108	091	154	124	110	128
9 ZTT U	7.1	62	86	92	68	58		39	34	35	7.7	73	119
10 TTT U	2.0	11	23	24	23	06		1.1	06	06	2.0	16	36
11 CCLF	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12 総コレステロールchol <sub>dt</sub> <sup>mg/dℓ</sup>	200	161	184	187	201	191	233	162	169	121	223	168	169
13 βリポ蛋白 <sub>dt</sub> <sup>mg/dℓ</sup>	461	92	406	328	592	303	750	303	224	618	513	434	487
14 トリグリセライド <sub>dt</sub> <sup>mg/dℓ</sup>	60	94	112	76	232	67	123	198	121	150	163	86	147
15 FFA mEg/ℓ	034	091	1.13	063	064	043	061	070	051	087	069	047	031

表4 昭和52年度入学生健康調査結果

肥満度	性別	既 往 症													
		1 肺結核	2 結核 その他	3 心 疾患	4 腎 疾患	5 肝 疾患	6 気管 支 喘息	7 貧 血	8 リウ マチ	9 小児 マヒ	10 てん かん	11 ノイ ロー ゼ	12 精神 神経 疾患	13 交通 事故 による 疾患	14 そ の 他
≤-20%	男	250 1					105 2	76 1							97 3
	女														
-20% < ≤ +20%	男	600 2		833 5	950 19	100 2	842 16	846 11	100 4	100 1	100 1			100 7	839 26
	女			100 1	100 6		100 1	900 9	100 1					100 5	933 14
+20% <	男				60 1										62 1
	女														

註 ( ) は%

表5 昭和52年度入学生健康調査結果

肥満度	性別	自 覚 症 状													
		1 よく風をひく	2 ひどい寝汗をかくことがある	3 口が渇くことがある	4 顔や下肢がむくむことがある	5 おなかをよくこわす	6 よく便秘する	7 頭が重かったり痛んだり	8 めまい・たちくらみがする	9 息が重くなる	10 疲れやすさ・元気がない	11 手足のつるさがある	12 めだつて体重が増減した	13 関節・腰などに痛みを感じる	14 出たり気が悪い・発疹が
≤-20%	男	30 5		10 1		17 3	14 1	35 5	15 4	77 1	15 1	15 2			
	女			48 1			22 1	15 1	12 1					21 1	
-20% < ≤ +20%	男	924 158	935 43	918 89	857 6	927 166	870 60	873 124	924 255	846 11	897 61	926 125	833 30	939 92	857 24
	女	100 60	750 3	100 21	100 7	953 41	935 43	985 67	965 83	100 4	100 17	974 37	100 9	979 47	100 7
+20% <	男	23 4	22 1	41 4		22 4	14 1	35 5	18 5	77 5	77 1	29 2	15 2	83 3	20 2
	女					23 1									

註 ( ) は%

表 6. 昭和 5 2 年度入学生肥満者の健康・生活調査結果

区分	症例別	症例 1	症例 2	症例 3	症例 4	症例 5	症例 6	症例 7	症例 8	症例 9	症例 10	症例 11	症例 12	症例 13
家族	家	祖母	父、母、兄	父、母、弟	父、母、兄	父、母、兄	父、母、弟、妹	父、母、弟	父、母、兄、弟	父、母、姉	父、母、妹	父、母、妹	父、母、兄	父、母、妹
	族	祖母	父、母、兄	父、母、弟	父、母、兄	父、母、兄	父、母、弟、妹	父、母、弟	父、母、兄、弟	父、母、兄、弟	父、母、兄、弟	父、母、兄、弟	父、母、兄、弟	父、母、兄、弟
住居	その内肥満者	父、母、兄	父、母、兄	父、母、兄	父、母、兄	父、母、兄	父、母、兄	父、母、兄	父、母、兄	父、母、兄	父、母、兄	父、母、兄	父、母、兄	父、母、兄
	住	父、母、兄	父、母、兄	父、母、兄	父、母、兄	父、母、兄	父、母、兄	父、母、兄	父、母、兄	父、母、兄	父、母、兄	父、母、兄	父、母、兄	父、母、兄
食生活	好きな食べ物	肉、野菜	肉、魚	肉、牛乳、野菜	肉、牛乳、野菜	肉、牛乳、野菜	肉、牛乳、野菜	肉、牛乳、野菜	肉、牛乳、野菜	肉、牛乳	肉、牛乳	野菜、肉、牛乳、魚	牛乳、野菜	野菜
	嫌いな食べ物	チーズ	グリーンピース	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	ソーセージ
運動	その他の	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	食事の規則性	3食	朝食なし2食	朝食なし3食	朝食なし2食	朝食なし3食	朝食なし3食	朝食なし3食	朝食なし2食	朝食なし3食	朝食なし3食	朝食なし2食	朝食なし3食	3食
既往症	嗜好品	コーヒー	コーヒー	コーヒー	コーヒー	コーヒー	コーヒー	コーヒー	コーヒー	コーヒー	コーヒー	コーヒー	コーヒー	コーヒー
	食事についての関心度	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
運動	クラブ加入の有無、名	アーチェリー	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	その他の	マラソン10分	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
既往症	入学前のクラブの有無	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	体格についてどう思っているか	肥えていることが気になる	肥満が気になる	肥満が気になる	肥満が気になる	肥満が気になる	肥満が気になる	肥満が気になる	肥満が気になる	肥満が気になる	肥満が気になる	肥満が気になる	肥満が気になる	肥満が気になる
既往症	いつから肥えたか	幼児	浪人中	幼児	小学1~3年	高2	小学6年	小学6年	小学4~6年	小学6年	高3	小学3年	小学4年	小学4年
	病名	×	盲腸	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
既往症	入院の有無	×	盲脂で	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	その他の	×	赤緑色弱	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
自覚症状	目が覚める	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	気味	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
自覚症状	その他	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	その他	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

図1 昭和52年度入学生の身長

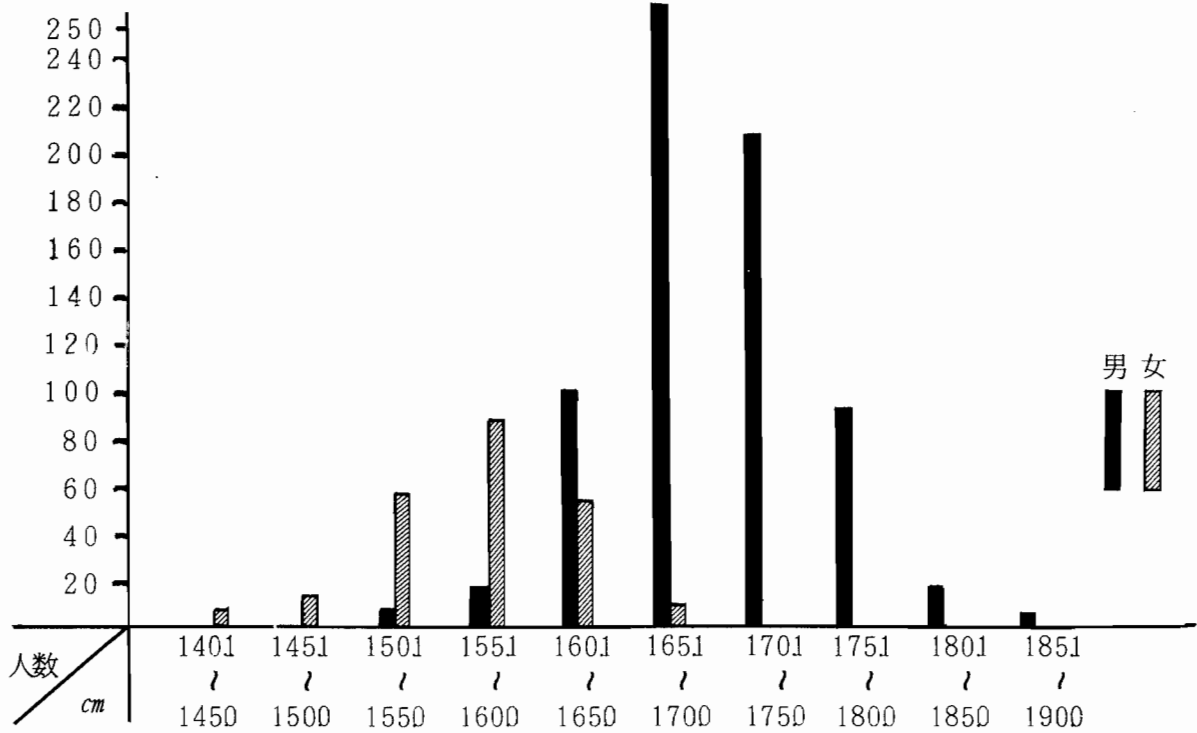
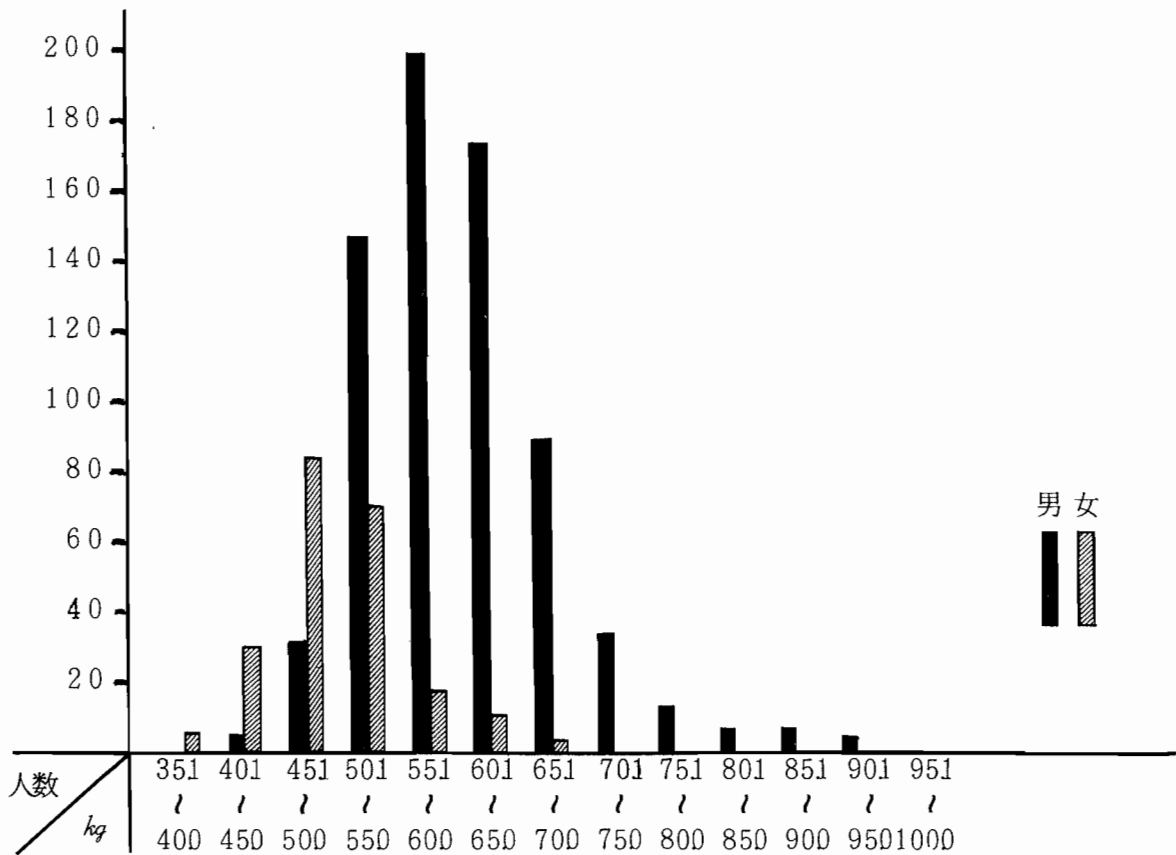


図2 昭和52年度入学生の体重



# 健康調査とインタビュー面接の検討

岐阜大学保健管理センター 中尾 けさじ  
岐阜大学教育学部 山中 栄子  
岐阜大学厚生課 丹羽 美穂子

## はじめに

(1)(2)  
毎年入学者に対して当大学では健康管理カードを配布し、健康調査を行っているが、ほとんど活用されていなかった。昭和49年10月、国立学校設置法により、学生の厚生補導施設として保健管理センター（以下センターという）が置かれたのを契機にして、51年度入学生の健康管理カード（以下カードという）回収時における健康調査を如何に活用するかを検討、その一方法として回収時に保健婦、看護婦が直接本人よりカードを受け取り簡単にインタビュー<sup>(3)</sup>した。その結果について検討を試みたので報告します。

## 目的

定期健康診断前の早い時期において、新入学生とのコミュニケーションを持ち、少しでも不安解消への援助、学生各個人が心身共に健康で充実した大学生活を送り学業に専念出来るように援助するための参考にしたいと考えて、センターを訪れた際、最初に出会う保健婦、看護婦<sup>(3)(4)</sup>がカードを直接本人より受け取り、インタビュー<sup>(5)</sup>を行うことで今後の健康管理によりよい効果を得ることを目的とした。

## 方法

50。51年度のカードの集計（表1）を検討して、52年度は一人に対して、2.3分から5分位インタビューの時間を持ち、インタビューすることにし、インタビューに際し、次のような留意事項を予め決めて実施した。

1. 未記入はないか
2. 自覚症状について（14項目）
  - イ ○印の多い者
  - ロ 疲れ易く元気がない
  - ハ めまい、立ちくらみがすることがある

ニ 頭が重かったり、痛んだりすることがある

ホ お腹をよくこわす。などの確認、又○印のない者に確かめをする。

### 3. 既往症について（14項目）

イ 心疾患、腎疾患、貧血などの者は現在はどうか、経過については主治医より診断書（経過、指示、指導など書いたもの）の交付を受けて来ることやセンターにて血圧測定、検尿をすすめる。そして小児まひ、交通事故などの障害で体育尖技に支障はないか、尋ねる。

4. インタビュー時感じたこと、記入はしていないが心配ごと、不安なこと、相談したいことはないか。

5. センターの機能について話す。

## 集計と結果

表2に示すごとくS52年度は全入学生945名中、回収したものの936名（回収率99.0%）、未回収者9名（1.0%）、未回収者は一部の者を除くほとんどが入学後すぐ休学した者が多かった。

次に、自覚症状では、50、51、52年を通して表3に見られるように「めまい、立ちくらみがすることがある」が男女とも訴えが多く、次いで「よくかぜを引く」「おなかをよくこわす」女子では、「頭が重かったり、痛んだりすることがある」が多く訴えられていた。続いて「疲れ易く元気がない」と訴える者が10%前後あることは考えさせられることである。身体的なものを考えると共に精神的、心理的アプローチの必要を感じる。これらの者の多くに専門医面接をすすめることが多い。既往症、表4では男子が腎疾患、女子は貧血が多かった。腎疾患は学校保健法の改正で検尿が義務づけられたことが関係していると思われる。腎疾患のうち入学後に再検査を要した者は52年度で26名（2.7%）中3名（0.3%）、男子2名（0.2%）、女子1名（0.4%）、その後経過観察者は2名（0.2%）（男子1名（0.1%）、女子1名（0.4%））であった。しかし、既往歴があると言うことで体育に自信がなく、その不安を除くのに長期間検尿、観察、指導した事例もあり、種々問題が多い。又、貧血と訴えた者でも未検査の急性脳貧血を貧血症と間違えていた者が30名中15名もあり、そばにいた者がついうっかり貧血という言葉で口にしたことを本人は貧血症と思い込んでしまっていたようで、私たち専門職として軽はずみな言動はつつしまなくてはいけないと痛感し、反省させられた。貧血既往歴を持つ23名（2.5%）のうち18名（78.3%）に貧血検査（肘静脈血によるヘモグロビン



値、赤血球数、ヘマトクリット値、血清蛋白、血圧測定などの検査)を行って、再検査を要した者2名(11.1%)で治療に至る者はいなかったので食餌を中心とした生活指導をした。

表5および表6に示すように、センターへの来所者のうち、健康調査時の訴えが直接来所の動機となった者が44名であった。その内健康調査では問題はなかったが面接したために来所することになった者が22名あった。これらを含めた男子139名(19.4%)、女子62名(28.2%)計201名(21.5%)(救急処置的なものは除く)が52年4月から12月の間に来所している。

次に表7及び表8に示すように男子では自覚症状の訴えと無関係に来所した者が多いがそれでも7項目訴えた者では60%来所している。又、訴え0の者も11.6%の者が訪れているという結果を見るとインテーク面接の大切さを痛感した。女子では訴えの多い者がよく来所している。5項目の訴えがあった者40%、6項目62.5%、7項目100%であった。又、「疲れ易く元気がない」と訴えていた者64.7%来所している。「めまい、立ちくらみがすることがある」と訴える者は、女子では43%と多かったが男子では直接の動機とはなっていないかった。

又、「頭が重かったり、痛んだりすることがある」と訴えた者、男子26.1%、女子39.7%来所している。又、肥満学生(2.2%)などに12月にアンケート調査をしたところ、健康調査時の働きかけが契機となってほとんど全員が自覚を持って体重のコントロールをして一応の効果をあげている事実が明らかになり、最初の働きかけの大事なことを痛感した。

### 考察とまとめ

以上より

(5)

1. 健康管理カード提出だけでなく同時に面接して、インテークする方がその後の健康管理に、より効果的と考える。
2. 訴えの数にとらわれることなく、項目の内容と、直接本人と面接することの重要性を痛感した。
3. インタビューを如何にするか、インターカーの言動の学生に与える影響の大きさを痛感し、インターカーの質の向上を計らねばならないと反省させられた。

まだ、考察も充分ではないがこれを基に検討を重ね、よりよい健康調査とインテーク面接に発展させ、保健管理活動の充実を計りたいと考えている。

この要旨は第20回東海学校保健学会で発表したものです。そして、この調査および集計に当っては厚生課、保健係の協力を得ましたので、ここに深く感謝いたします。

#### 参 考 文 献

- (1) 渋谷敬三、能美光房、国崎弘、共著：  
新学校保健実務必携 第一法規P 180～P 181、1975。
- (2) 江口篤寿編：健康調査、保健室の仕事、第2版、医学書院P 8、1974
- (3) 木田徹郎著：社会福祉事業、川島書店P 174、1974
- (4) 坂本弘、松野かほる、祖父江逸郎、杉浦静子、共著：i n t a k e 面接、看護面接。  
日本経営出版会P 33～P 36、1976
- (5) 宇留野勝正、山口絢子編：保健指導指針、南山堂、P 350～P 351、1976

表1. 健康調査集計結果（自覚症状に○印をつけた数による集計）

昭和50年度

○印をつけた数	0	1	2	3	4	5	6	7	8以上	計	カードなし (未収)	合計
男(%)	169	174	134	93	63	45	16	13	5	983 712 100	(17) 12	(100) 724
女(%)	39	52	51	34	30	10	5	6		(100) 227 100		(100) 227
計	208	226	185	127	93	55	21	19	5	987 939 100	(13) 12	(100) 951

昭和51年度

○印をつけた数	0	1	2	3	4	5	6	7	8以上	計	カードなし (未収)	合計
男(%)	162	149	168	90	57	25	20	6	7	990 684	(10) 7	(100) 691
女(%)	53	57	50	29	23	21	6	2	2	968 243	(32) 8	(100) 251
計	215	206	218	119	80	46	26	8	9	984 927	(16) 15	(100) 942

表 2 . 健康調査集計結果 (自覚症状に○印をつけた数による集計)

昭和 5 2 年度

○印をつけた数	0	1	2	3	4	5	6	7	8 以上	計	カードなし (未回収)	合計
男(%)	198 (278)	155 (217)	145 (203)	89 (125)	56 (78)	36 (50)	18 (25)	10 (14)	9 (13)	989 716 (100)	8 (11)	(100) 724
女(%)	44 (200)	54 (245)	41 (186)	37 (168)	23 (105)	10 (45)	8 (36)	2 (09)	1 (05)	995 220 (100)	1 (05)	(100) 221
計	242	209	186	126	79	46	26	12	10	990 936	9 (10)	(100) 945

表3. 自覚症状の訴え

区 分 項 目	5 2 年				5 1 年				5 0 年			
	男		女		男		女		男		女	
	(a) 数	% ( $\frac{a}{716}$ )	(a) 数	% ( $\frac{a}{220}$ )	(a) 数	% ( $\frac{a}{684}$ )	(a) 数	% ( $\frac{a}{243}$ )	(a) 数	% ( $\frac{a}{712}$ )	(a) 数	% ( $\frac{a}{227}$ )
1.よくかぜをひく	171	239	60	273	170	249	65	267	185	260	63	278
2.ひどい寝汗をかくこ とがある	46	64	4	18	32	47	4	16	45	63	7	30
3.口が渇くことがある	97	135	21	95	86	126	21	86	121	170	21	93
4.顔や下肢がむくむこ とがある	7	09	7	32	11	16	6	25	12	17	1	04
5.おなかをよくこわす	179	250	43	195	170	249	45	185	165	232	40	176
6.よく便秘する	69	96	46	209	54	79	54	222	66	93	36	159
7.頭が重かったり、痛 んだりすることがある	142	198	68	309	154	225	78	321	156	219	84	370
8.めまい、立ちくらみ がすることがある	276	385	86	391	262	383	97	399	269	378	110	485
9.息苦しくなって困る ことがある	13	18	4	18	28	41	8	33	28	39	8	35
10.疲れ易く元気がない	68	95	17	77	64	94	29	119	66	93	11	48
11.手足のつることがあ る	135	189	38	173	139	203	37	152	135	190	52	229
12.めだって、体重が増 減したことがある	36	50	9	40	34	50	8	32	46	65	13	57
13.関節、腰などに痛み を感ずることがある	98	137	48	218	113	165	50	206	108	152	45	198
14.薬剤使用後に熱や発疹 出たり、気分が悪くな ったことがある(例、ペ ニシリン、サルファ剤)	28	39	7	32	27	40	9	37	23	32	12	53

表4. 既往症歴

50年～52年

区分 既往症名	5 2 年				5 1 年				5 0 年			
	男		女		男		女		男		女	
	訴え数	% ( $\frac{\text{人員}}{716}$ )	訴え数	% ( $\frac{\text{人員}}{220}$ )	訴え数	% ( $\frac{\text{人員}}{684}$ )	訴え数	% ( $\frac{\text{人員}}{243}$ )	訴え数	% ( $\frac{\text{人員}}{712}$ )	訴え数	% ( $\frac{\text{人員}}{227}$ )
1 肺 結 核	4	0.5			1	0.2			2	0.3		
2 その他の結核	1	0.1			2	0.3	2	0.8				
3 心 疾 患	6	0.8	1	0.5	2	0.3			3	0.4	1	0.4
4 腎 疾 患	20	2.8	6	2.7	19	2.8	3	1.2	17	2.4	3	1.3
5 肝 疾 患	2	0.3			5	0.7			6	0.8	1	0.4
6 気管支喘息	19	2.7	1	0.5	15	2.2	3	1.2	6	0.8	5	2.2
7 貧 血	13	1.8	10	4.5	12	1.8	17	7.0	8	1.1	12	5.3
8 リウマチ	4	0.5	1	0.5	2	0.3	1	0.4	5	0.7	2	0.8
9 小児マヒ	1	0.1			2	0.3			3	0.4		
10 てんかん	1	0.1										
11 ノイローゼ	1	0.1			2	0.3	1	0.4				
12 精神神経疾患					2	0.3	2	0.8	1	0.1		
13 交通事故による疾患	7	1.0	5	2.3	12	1.8	1	0.4	10	1.4	3	1.3
14 そ の 他	31	4.3	15	6.8	24	3.5	6	2.5	8	1.1	4	1.8

表 5 . 昭和 5 2 年度健康調査及びインタビュー面接結果 (男)

区分	項目	自 覚 症 状													
		1 よくかぜをひく	2 ひどい寝汗をかくことがある	3 口が渇くことがある	4 顔や下肢がむくむことがある	5 おなかをよよくこわす	6 よよく便秘する	7 頭が重かったり痛んだりすることがある	8 めまい、立ちくらみがすることがある	9 息苦しくなったり困ることがある	10 疲れやすく元気がない	11 手足のつるることがある	12 めだつて体重が増減したことがある	13 関節・腰などに痛みを感じるがある	14 薬剤使用後に熱・発疹が出たり気分が悪い
健康調査時の	716	171	46	97	7	179	69	142	276	13	68	135	36	98	28
回 答 数	(100)	(239)	(64)	(135)	(09)	(250)	(96)	(198)	(385)	(18)	(95)	(189)	(50)	(137)	(39)
4 月健康調査	32	11	6	6	2	8	6	15	18	2	9	8	1	6	4
時インタビューした者	(45)	(64)	(13.0)	(62)	(28)	(45)	(87)	(106)	(65)	(154)	(132)	(59)	(28)	(61)	(14.3)
4 月 ~ 1 2 月	139	38	14	15	3	33	14	37	68	2	20	34	7	20	7
来 所 者	(194)	(222)	(304)	(155)	(429)	(184)	(203)	(261)	(246)	(154)	(290)	(252)	(194)	(204)	(250)
3 ヶ月以上 中・高時代 欠席した者	3					1		1			1				
	(04)					(05)		(07)			(15)				
既 往 症	肺 結 核	4				1		2	2						
		(05)				(05)		(14)	(07)						
	肝 疾 患	2											1		
		(02)											(28)		
	貧 血	13	7	2	2	1	1	2	3	10		2	5	1	4
	(18)	(41)	(43)	(21)	(14.3)	(05)	(29)	(21)	(36)		(29)	(37)	(28)	(41)	(36)
貧 疑 血 症	6	2	1	3		4	2	2	5		3	2		1	
	(08)	(12)	(22)	(31)		(22)	(29)	(14)	(18)		(44)	(15)		(10)	
腎 疾 患	20	12	5	4		7		3	11			8		4	2
	(27)	(70)	(109)	(41)		(3.9)		(21)	(40)			(5.9)		(41)	(71)

註 ( ) は %

表6. 昭和52年度健康調査及びインタビュー面接結果(女)

区分	項目	自覚症状														
		1 よくなぜをひく	2 ひどい寝汗をかくことがある	3 口が渇くことがある	4 顔も下肢がむくむことがある	5 おなかをよくこわす	6 よく便秘する	7 頭が重かったり痛んだりすることがある	8 めまい、立ちくらみがすることがある	9 息苦しくなったり困ることがある	10 疲れやすく元気がない	11 手足のつるることがある	12 めだつて体重が増減したことがある	13 関節・腰などに痛みを感じるがある	14 薬剤使用後に熱・発疹が出たり気分が悪い	
健康調査時の 回答数	220 (100)	60 (27.3)	4 (1.8)	21 (9.5)	7 (3.2)	43 (19.5)	46 (20.9)	68 (30.9)	86 (39.1)	4 (1.8)	17 (7.7)	38 (17.3)	9 (4.0)	48 (21.8)	7 (3.2)	
4月健康調査 時インタビュー者	12 (5.5)	5 (8.3)		3 (1.4)	4 (5.7)	3 (7.0)	2 (4.3)	8 (11.8)	8 (9.3)	1 (2.5)	3 (17.6)	1 (2.6)	1 (11.1)	7 (14.6)		
4月～12月 来所者	62 (28.2)	19 (31.7)	1 (2.5)	8 (38.1)	5 (7.1)	13 (30.2)	14 (30.4)	27 (39.7)	37 (43.0)	3 (7.5)	11 (64.7)	7 (18.4)	5 (55.6)	17 (35.4)	2 (28.6)	
3ヶ月以上 中・高時 欠席した者	0															
既往症	肺結核	0														
	肝疾患	0														
	貧血	10 (4.5)	3 (5.0)	1 (2.5)	3 (14.3)		3 (7.0)	3 (6.5)	5 (7.4)	8 (9.3)		1 (5.9)		1 (11.1)	2 (4.2)	1 (14.3)
	貧血 疑い	1 (0.5)												1 (11.1)		
	腎疾患	6 (2.7)	1 (1.7)		1 (4.8)	1 (14.3)	1 (2.3)	2 (4.3)	2 (2.9)	3 (3.5)			1 (2.6)		2 (4.2)	1 (14.3)

註 ( )は%



表 7. 昭和 5 2 年度健康調査及びインタビュー面接結果 (男)

数の区分		自覚症状に○印をつけた数								
		0	1	2	3	4	5	6	7	8 以上
区 分	実 人 員									
健康調査時の 回 答 数	716	198	155	145	89	56	36	18	10	9
4 月健康調査 時インタビューした者	32	4	3	5	11	1	1	3	1	3
4 月～1 2 月 来 所 者	139	23 (11.6)	32 (20.6)	30 (20.7)	24 (26.9)	10 (17.9)	9 (25.0)	2 (11.1)	6 (60.0)	3 (33.3)
3 ヶ月以上 中高時代 欠席した者	3	2			1					
既 往 症	肺 結 核	4	2		1	1				
	肝 疾 患	2	1	1						
	貧 血	13		3	2	2	4	1		1
	貧 血 疑 い	6			1	1	2	1		1
	腎 疾 患	20	3	8	3	3	1	1	1	

註 ( ) は%

表 8 . 昭和 5 2 年度健康調査及びインタビュー面接結果 (女)

数の区分 実 人 員		自覚症状に○印をつけた数								
		0	1	2	3	4	5	6	7	8 以上
健康調査時の 回 答 数	220	44 (200)	54 (245)	41 (186)	37 (168)	23 (105)	10 (45)	8 (36)	2 (09)	1 (05)
4 月健康調査 時インタビューした者	12 (55)		1 (19)	3 (73)	2 (54)	1 (43)	2 (200)	2 (250)	1 (500)	
4 月 ~ 1 2 月 来 所 者	62 (282)	7 (159)	14 (259)	11 (268)	10 (270)	9 (39.1)	4 (400)	5 (625)	2 (100)	
3 ヶ月以上 中・高時代 欠席した者	0									
既 往 症	肺 結 核	0								
	肝 疾 患	0								
	貧 血	10 (45)	1 (23)	3 (56)		2 (54)	1 (43)	1 (100)	1 (125)	1 (500)
	貧 血 疑 い	1 (05)		1 (19)						
	腎 疾 患	6 (2.7)	1 (23)	1 (19)		2 (54)	2 (8.7)			

註 ( ) は%

## 岐阜大学長良地区における肝機能検査結果

岐阜大学医学部附属病院第1内科	清 水 勝
岐阜大学保健管理センター	田 中 實
同	中 尾 けさじ
岐阜大学厚生課	丹 羽 美穂子
岐阜大学教育学部	山 中 栄 子

### はじめに

肝臓病は最近増加の傾向にあり、国民一般に注目されるようになってきた。このため自己の肝疾患の検査のために、医療施設をおとずれたりする機会が多くなっているようである。一方職場においても健康管理の面から、肝疾患がとりあげられるようになり、一部の職場ではすでに肝機能検査がなされている。今回、岐阜大学においても、一般教・職員を対象に肝機能検査を施行する機会を得たのでその結果を報告する。

### 対象および方法

岐阜大学長良地区（教育学部、教養部）に勤務する教・職員263名（男232名、女31名）中40才以上の教・職員155名（男135名、女20名）を対象とした。この他に39才以下でも希望者は検査対象とした。

肝機能検査項目はGOT、GPTの2項目とした。GOT40単位以下、GPT35単位以下を正常値とし、いずれか一方にあるいは両者に異常値を認めたものは、要精検者とし第二次

検診対象者とした。第2次検診は岐阜大学医学部附属病院においてさらに詳細な検査を行った。

## 結 果

受診者は40才以上の対象者155名中41名で受診率26.5%であり、うち男性は135名中40名受診率29.6%、女性は20名中1名受診率5.0%であった。

GOT 41単位以上の異常者は男性40名中2名、5%、女性1名中0名であり、GPT 36単位以上の異常者は男性40名中2名、5%、女性1名中0名であった。(表1、2)この他に39才以下の受診者8名中1名にGPT異常を認めた。

40才以上の異常者3名と39才以下の異常者1名につき、第2次検診を施行した。第2次検診では空腹時に採血し、各種肝機能検査、脂質検査、HBs抗原(RPHA法)、HBs抗体(PHA法)の検索とともに内科的診察を行った。

4症例中1例をのぞく3症例ともにGOT、GPTの一方あるいは両者に異常が認められた。症例1は、GOT 45単位、GPT 114単位と異常値を示しかつ脂質も高値がみとめられ、肥満がみられ臨床的に脂肪肝が疑われた。

症例2はGOT値、GPT値の軽度上昇、ZTT、TTTの高値、CCLF陽性でかつHBs抗原陽性であった。またAuコロイドによる肝シンチグラムでは、脾の腫大が認められた。

。本症例は臨床的に肝硬変が示唆された。

症例3は軽度のGOT値上昇が認められているが、βリポ蛋白高値で肥満傾向にあった。

。症例4は第2次検診で肝機能異常は認められなかった。

## 考 按

我国における職場の健康管理の実態は、戦後長い間、肺結核を中心になされてきた。肺結核はいうまでもなく死亡統計上上位であったが、健康管理の充実、集団検診の普及により早期発見が可能になり、さらに抗結核剤の出現により著しく減少し、現在では死亡統計の上でも第10<sup>1)</sup>位にしりぞいている。一方、心・血管系病変、悪性腫瘍による死亡者が増加し、死因統計上第1<sup>1)</sup>位が脳血管疾患であり、第2位が悪性腫瘍によるものである。かかる現象から、最近では職場における健康管理も、40才以上の対象者に対し血圧測定、便潜血検査、胃のX線検査などが重要視されるようになり、またその効果がみられている。

最近、肝疾患ことに肝硬変症による死亡者が増加し、死因統計上でも第9位を占めるに至<sup>1)</sup>った。さらに肝硬変症から肝癌に進展する頻度も高く注目されている。また我国は、HBs抗原陽性者が2~3%存在し、HBs抗原陽性者が30~40%存在するように、B型肝炎ウイルスの汚

染地域でもあり、慢性肝炎、肝硬変、肝癌の過程の示唆される。このため肝疾患に対しても職場における健康管理対策が望まれていたわけであるが、「人事院規則10-4(職員の保健及び安全保持)の運用について」の一部改正が出されてから各職場においても、肝機能検査がなされるようになってきた。岐阜大学においても今まで、特殊な職種の勤務者に対して肝機能検査がなされてきていたが、昭和52年度にはじめて一般職種の40才以上の長良地区の教・職員を対象にGOT、GPT 2項目の肝機能検査を実施した。

受診者は男40名、女1名で受診率26.5%と低率であったが、脂肪肝1例、HBs抗原陽性の肝硬変症1例を発見した。これらの2症例は、全く自覚症状も認められず、肝疾患の既往もなく治療を受けた経験もない。現在これらの2症例に対して、直ちに薬物治療は必要でないが、日常生活指導および定期的観察が必要であると考えられ実施中である。

今回の受診率の低かったことは、初めての検査でPR不足の面もあったが、また個人個人がすでに人間ドックなどを受診しており、今回受診しなかったのも一つの原因である。

<sup>3)</sup>  
伊藤は某職場における1770名(平均年令35才)の肝機能検査の結果、約4.8%に異常が認められ、また40才以上の227名については10%が異常であったと報告し職場における肝機能検査の重要性を強調している。

今回2名の肝機能異常者を発見し、日常生活指導を行ったが、職場においても健康管理の上で肝疾患に対する検査も必要である。

我々はスクリーニング的にGOT、GPTの2項目について検査したが、GOT、GPTがすべての肝疾患を反映しているものではなく、GOT、GPTの正常な肝疾患が存在することは日常臨床的にみられることであり、今後肝機能検査項目の選択、方法など検討していかなければならない。また対象者を今回は40才以上としたが、一般に若年者にも肝疾患患者がみられ特にHBs抗原陽性の肝疾患は陰性のそれに比べて10才程若くして発生がみられることなどから、対象年令についても考慮していかなければならない。

## おわりに

昭和52年度に岐阜大学長良地区の教・職員(40才以上)を対象に、肝機能検査を実施したので若干の考察を加えて報告した。

## 文 献

- 1) 厚生統計協会編：第2編人口動態と生命表、厚生指標、国民衛生の動向VOL.24、No.9、44、1977.
- 2) 人事院：教育関係・人事・給与法規集P2009の5、第1法規
- 3) 伊藤円、第23回日本産業医協議会発表1977

表1. GOTの結果

I U / ℓ	男	女
40 以下	38 (8)	1 (6)
41 ~ 50	1 (0)	0 (0)
51 ~ 100	1 (0)	0 (0)
101 以上	0 (0)	0 (0)

( ) は39才以下

表2. GPTの結果

I U / ℓ	男	女
35 以下	38 (7)	1 (6)
36 ~ 50	1 (1)	0 (0)
51 ~ 100	1 (0)	0 (0)
101 以上	0 (0)	0 (0)

( ) は39才以下

表 3 . 要精検者の血液生化学所見

	症例 1 (男)	症例 2 (男)	症例 3 (男)	症例 4 (男)
総タンパク (g/dl)	8.7	7.6	8.1	8.1
アルブミン (g/dl)	4.6	4.2	4.6	4.7
総ビリルビン (mg/dl)	1.5	0.6	0.6	0.5
アルカリ フォスファターゼ (IU/l)	39	68	59	58
L D H (IU/l)	177	178	179	210
G O T (IU/l)	45	83	51	30
G P T (IU/l)	114	41	38	38
C H - E $\Delta$ PH	1.18	0.75	1.30	0.91
L A P (IU/l)	14			
r -G T P (IU/l)	14			
Z T T	11.4	22.7	13.2	12.1
T T T	8.0	10.0	1.7	3.1
C C L F	-	+		-
HBs 抗原 (RPHA法)	-	+	-	-
HBs 抗体 (PHA法)	-	-	+	+
総コレステロール (mg/dl)	225	177	243	191
中性脂肪 (mg/dl)	318	109	94	146
F F A (mEq/l)	1.28	0.91	0.75	0.47
$\beta$ -リポタンパク (mg/dl)	882	566	724	672

症例 4 は 39 才以下

## 昭和52年度教育学部卒業予定者の貧血調査

岐阜大学教育学部	山中 栄子
岐阜大学保健管理センター	田中 實
同	中尾 けさじ
岐阜大学厚生課（長良保健室）	丹羽 美穂子
岐阜大学医学部附属病院第1内科（学医）	清水 勝

### はじめに

我々は過去3年間にわたって岐阜大学入学生について、健康管理カードにより、健康調査を施行してきたが、その結果めまい、立ちくらみを訴える学生が多いのに気づいた<sup>1)</sup>

この原因を検索する目的で、今回岐阜大学教育学部昭和52年度卒業予定者について、貧血調査、血圧測定、その他各種の検査を施行した。

その結果、貧血調査について報告する。

### 対象および方法

対象は昭和52年度教育学部卒業予定者384名（男195名、女189名）であつた。対象学生に検査目的を十分に説明し、肘静脈から採血し赤血球数、ヘマトクリット値、ヘモグロビン値、血清タンパクおよび血圧測定を施行した。

### 結果および考察

受検者は男169名（受検率86.7%）、女176名（93.1%）であつた。



その結果は表1～表12に示した。ヘモグロビン値が男12.0 g/dl未満、女11.0 g/dl未満を貧血とし、第二次検査を施行した。第一次検査では男169名中0名、女176名中2名(1.14%)に異常値を認めた。第二次検査結果は表13に示すごとくで、症例1は、ヘモグロビン12.3 g/dlと異常を認めなかったが、症例2は、ヘモグロビン9.1 g/dlと低値をきたしたため、岐阜大学医学部附属病院においてさらに精密検査を施行した。結果は赤血球数 $487 \times 10^4 / \text{mm}^3$ ・白血球数 $3500 / \text{mm}^3$ 、ヘマトクリット値26.6%、ヘモグロビン値7.6 g/dl、血小板数 $18 \times 10^4 / \text{mm}^3$ 、GOT 27、GPT 18、LDH 139、血清鉄23 r/dlで鉄欠乏性貧血と診断された。したがって現在日常生活指導および鉄剤投与により経過観察中である。

血圧は、最高血圧90mmHg未満を低血圧症としたが、測定結果では表11にみるごとく、男では0名、女で4名認められた。この4名には血圧測定による経過観察と生活指導を行い検討中である。

昭和52年度教育学部卒業予定者を対象とした今回の検査結果から、自覚症状の立ちくらし、めまいなどは説明しがたい。しかし、起立性低血圧症、自律神経失調症、機能障害の問題など検討していかなければならない。さらに、貧血調査と共に循環機能・肺機能検査、体力測定、心理検査なども実施し、また心身の健康・栄養・生活・運動歴についての諸調査も行ったが、これらの結果及び相関などについては現在検討中であり、別の機会に発表する予定である。

### お わ り に

今回昭和52年度教育学部卒業予定者の貧血調査を行ったので、その結果を報告した。

この調査の実施に当り関係各方面の方々の協力を多く得ました。その中でも教育学部厚生係、那加保健室の諸兄姉の協力には特に深く感謝いたします。

### 文 献

1) 中尾けさじ、健康調査とインタビュー面接の検討(大学保健管理活動における保健婦、看護婦の役割)第20回東海学校保健学会総会講演集、27、1978。

表1. 身長 (cm)

男			女		
MEAN = 169.5			MEAN = 156.9		
ST. DEV. = 5.73			ST. DEV. = 4.91		
N	P		N	P	
10			10		
20			20		
30			30		
40			40		
0.0					
~ 144.0	0	0.0	1	0.6	
~ 149.0	0	0.0	8	4.5	*****
~ 154.0	0	0.0	44	25.0	*****
~ 159.0	5	3.0	67	38.1	*****
~ 164.0	30	17.8	46	26.1	*****
~ 169.0	46	27.2	9	5.1	*****
~ 174.0	53	31.4	1	0.6	
~ 179.0	31	18.3	0	0.0	
~	4	2.4	0	0.0	

N : 人数      p : %      MEAN : 平均值      ST. DEV. : 標準偏差値 (以下同じ)

表2. 体重 (kg)

男			女		
MEAN = 61.2			MEAN = 50.2		
ST. DEV. = 7.33			ST. DEV. = 6.11		
N	P		N	P	
10			10		
20			20		
30			30		
40			40		
0.0					
~ 39.0	0	0.0	5	2.8	**
~ 44.0	0	0.0	24	13.6	*****
~ 49.0	8	4.7	49	27.8	*****
~ 54.0	21	12.4	59	33.5	*****
~ 59.0	42	24.9	25	14.2	*****
~ 64.0	51	30.2	12	6.8	*****
~ 69.0	23	13.6	2	1.1	*
~ 74.0	16	9.5	0	0.0	
~	8	4.7	0	0.0	

表 3. ローレル指数

男 MEAN=125 ST. DEV. =13.86				女 MEAN=130 ST. DEV. =15.33						
N	P	10	20	30	N	P	10	20	30	40
0.0										
~ 99	2 12	*			0	0.0				
~ 109	17 10.1	*****			9	5.1	*****			
~ 119	38 22.5	*****			25	14.2	*****			
~ 129	44 26.0	*****			64	36.4	*****			
~ 139	40 23.7	*****			34	19.3	*****			
~ 149	19 11.2	*****			23	13.1	*****			
~ 159	8 4.7	*****			13	7.4	*****			
~ 169	0 0.0				5	2.8	**			
~	1 0.6				3	1.7	*			

表 4. ヘモクロビン値 (g/dl)

男 MEAN=16.2 ST. DEV. =1.14				女 MEAN=13.8 ST. DEV. =1.24						
N	P	10	20	30	N	P	10	20	30	40
0.0										
~ 9.9	0 0.0				1	0.6				
~ 10.9	0 0.0				2	1.1	*			
~ 11.9	0 0.0				4	2.3	**			
~ 12.9	0 0.0				26	14.8	*****			
~ 13.9	3 1.8	*			57	32.4	*****			
~ 14.9	14 8.3	*****			60	34.1	*****			
~ 15.9	50 29.6	*****			17	9.7	*****			
~ 16.9	58 34.3	*****			7	4.0	*****			
~ 17.9	27 16.0	*****			1	0.6				
~ 18.9	15 8.9	*****			1	0.6				
~ 19.9	2 1.2	*								
~	0 0.0									

表5. ヘマトクリット値 (%)

男			MEAN=45.6	ST. DEV. =3.02	女			MEAN=39.1	ST. DEV. =2.98			
	N	P	10	20	30	40	N	P	10	20	30	40
~ 339	0	0.0					2	1.1	*			
~ 369	1	0.6					30	17.0	*****			
~ 399	1	0.6					72	40.9	*****			
~ 429	26	15.4	*****				59	33.5	*****			
~ 459	50	29.6	*****				10	5.7	*****			
~ 489	73	43.2	*****				2	1.1	*			
~ 519	16	9.5	*****				0	0.0				
~ 549	0	0.0					0	0.0				
~ 579	0	0.0					0	0.0				
~	2	1.2	*				1	0.6				

表6. 赤血球数 ( $\times 10^4/\text{mm}^3$ )

男			MEAN=50.9	ST. DEV. =0.35	女			MEAN=44.1	ST. DEV. =0.28			
	N	P	10	20	30	40	N	P	10	20	30	40
~ 379	0	0.0					1	0.6				
~ 409	0	0.0					20	11.4	*****			
~ 439	4	2.4	***				57	32.4	*****			
~ 469	16	9.5	*****				73	41.5	*****			
~ 499	43	25.4	*****				20	11.4	*****			
~ 529	62	36.7	*****				5	2.8	**			
~ 559	29	17.2	*****				0	0.0				
~ 589	10	5.9	*****				0	0.0				
~ 619	5	3.0	***				0	0.0				
~	0	0.0										

表 7. 平均赤血球容積 (  $\mu^3$  )

男 MEAN=89.9 ST. DEV. =7.04				女 MEAN=88.9 ST. DEV. =7.32							
N	P	10	20	30	40	N	P	10	20	30	40
~ 70.0											
~ 75.0	0	00				2	1.1	*			
~ 80.0	7	41	*****			7	4.0	*****			
~ 85.0	28	166	*****			31	17.6	*****			
~ 90.0	60	355	*****			69	39.2	*****			
~ 95.0	47	278	*****			50	28.4	*****			
~ 100.0	17	101	*****			10	5.7	*****			
~ 105.0	4	24	**			4	2.3	**			
~ 110.0	2	12	*			2	1.1	*			
~	3	18	*			1	0.6				

表 8. 平均赤血球血色素量 (  $g/g$  )

男 MEAN=32.0 ST. DEV. =2.38				女 MEAN=31.3 ST. DEV. =2.60							
N	P	10	20	30	40	N	P	10	20	30	40
22.0											
~ 24.0	0	0.0				2	1.1	*			
~ 26.0	3	1.8	*			3	1.7	*			
~ 28.0	3	1.8	*			11	6.3	*****			
~ 30.0	22	13.0	*****			29	16.5	*****			
~ 32.0	63	37.3	*****			59	33.5	*****			
~ 34.0	46	27.2	*****			52	29.5	*****			
~ 36.0	22	13.0	*****			16	9.1	*****			
~ 38.0	10	5.9	*****			1	0.6				
~	0	0.0				3	1.7	*			

表 9 . 平均赤血球血色素濃度 (%)

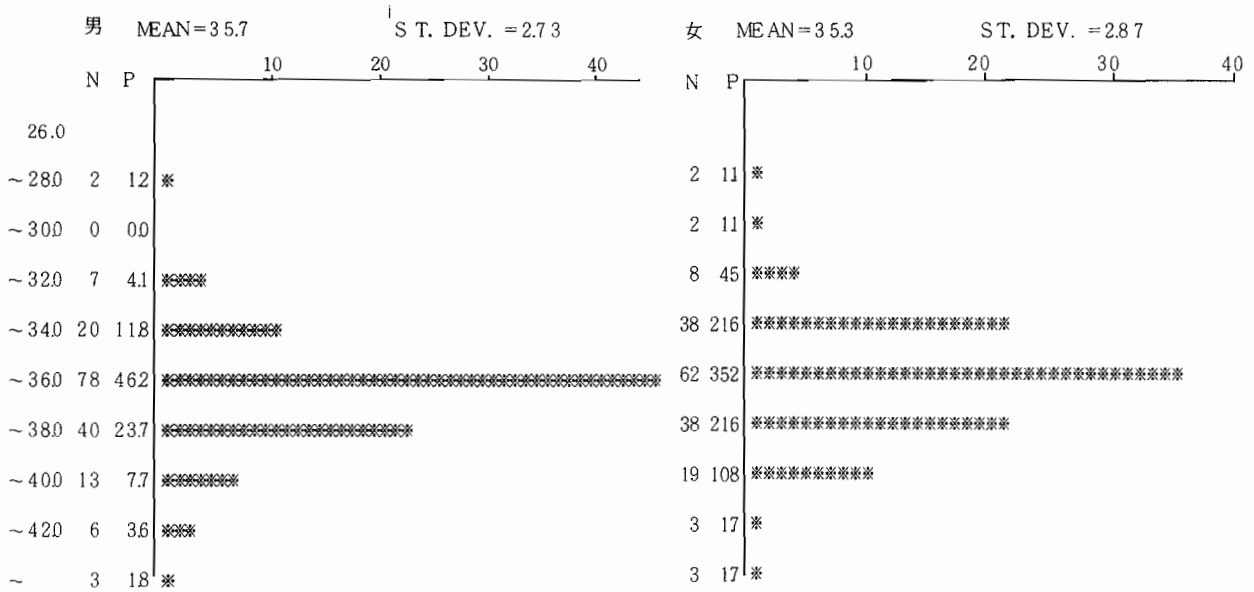


表 10 . 総タンパク (g / dl)

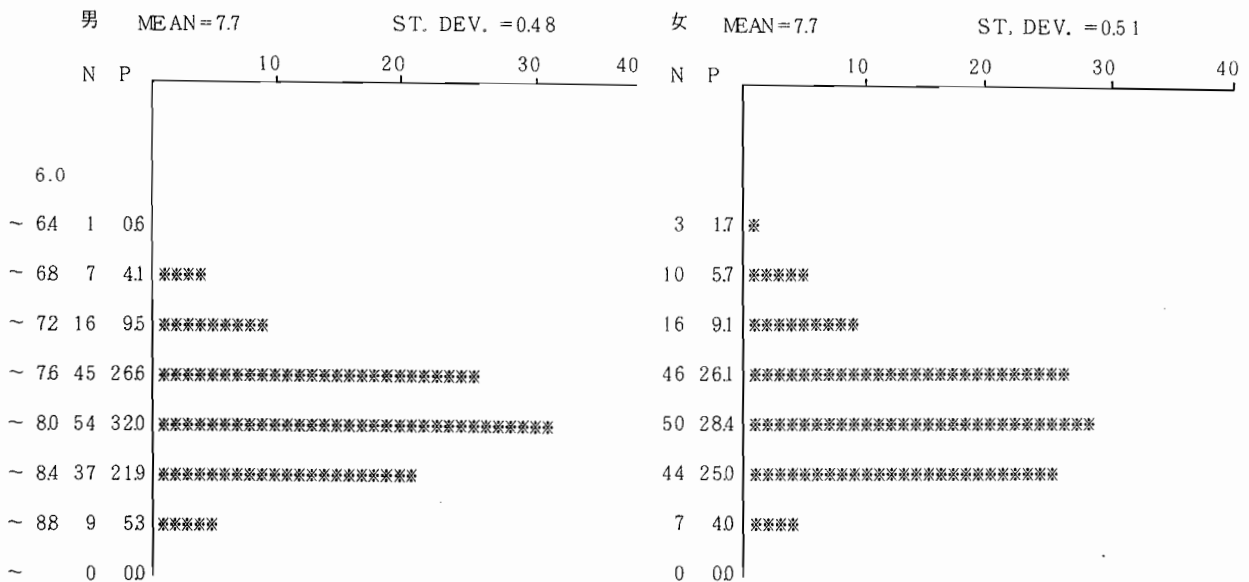


表11. 最高血压 (mmHg)

男 MEAN=125 ST. DEV. =11.75					女 MEAN=111 ST. DEV. =10.60						
N	P	10	20	30	40	N	P	10	20	30	40
79											
~ 89	0 0.0					4	23	**			
~ 99	2 12 *					17	97	*****			
~ 109	8 4.7 ****					51	290	*****			
~ 119	39 23.1 *****					70	398	*****			
~ 129	62 36.7 *****					26	148	*****			
~ 139	45 26.6 *****					7	40	****			
~ 149	8 4.7 ****					0	0.0				
~ 159	2 12 *					1	0.6				
~	3 1.8 *					0	0.0				

表12. 最低血压 (mmHg)

男 MEAN=74 ST. DEV. =9.60					女 MEAN=67 ST. DEV. =8.26						
N	P	10	20	30	40	N	P	10	20	30	40
0											
~ 49	0 0.0					3	1.7 *				
~ 59	12 7.1 *****					25	142	*****			
~ 69	39 23.1 *****					78	443	*****			
~ 79	71 42.0 *****					58	330	*****			
~ 89	40 23.7 *****					12	6.8 *****				
~ 99	7 4.1 ****					0	0.0				
~	0 0.0					0	0.0				

表13. 再検査結果

症例	区分	項目	ユリフレット			血圧		血液				
			蛋白	糖	潜血	最高	最低	ヘモグロビン	ヘマトクリット	赤血球	血清蛋白	
						mmHg		%	g/dl	%	$\times 10^4$	g/dl
症例 1 (女)	第1次検査	(-)	(-)	(-)		118	86	68	10.9	35.0	382	7.8
	第2次検査											
症例 1 (女)	第1次検査	(-)	(-)	(-)		96	60	59	9.1	31.5	396	8.3
	第2次検査											
症例 2 (女)	第1次検査											
	第2次検査							55	8.9	31.0	366	7.8



### III 保健管理センターの事業等

#### 1) 救急処置講習会・性病についての講演

#### 2) 保健セミナー

昭和52年度保健管理センター事業の一つとして講演会・映画会及び保健セミナーを開催することが運営委員会に諮られた。その後、体育系サークル・リーダーあてに、部員の健康管理についてのアンケートを実施したところ、救急法についての話を聞きたいとの希望が多かった。センターの講演会開催に際してはできる限り多くの学生の参加が望ましいので、講演のテーマとして特に学生の関心のつよい「性病」及び「救急法」を取上げて企画し、所長から医学部長あて講師の派遣方を依頼し快諾を得たので、別紙資料のとおり救急法及び性病についての講習会・講演会を開催することとなった。

なお、学生への呼びかけについては、特に体育系サークル部員への参加を呼びかけたほか保健管理医からも体育教官及び学生への周知徹底につとめてもらった。その結果、体育系サークル部員、教職員合わせて100数拾名の参加があり、盛況であった。

また、別に行った保健セミナーは教職員を対象として保健管理医が学生相談の意義及び接し方等について講話を行い受講者から熱心な質疑がかわされた。

資料 1

救急処置講習会・講演会のお知らせ

と き 昭和 5 2 年 1 2 月 1 4 日 (水) 1 3 時 3 0 分 から  
と ころ 教 育 学 部 1 3 番 教 室

◎ 救急処置講習会 (13 : 30 ~ 15 : 00)

— 蘇生術・人口呼吸法について —

講 師 岐 阜 大 学 医 学 部 麻 醉 学 教 授 山 本 道 雄 氏

映 画 「いのちを救う」上映

◎ 講演会 (15 : 10 ~ 16 : 30)

— 性病について —

講 師 岐 阜 大 学 医 学 部 泌 尿 器 科 学 助 手 坂 義 人 氏

映 画 「あなたは大丈夫ですか」

「愛と性と青春」上映

保健管理センター

資料 2

昭和 5 2 年 1 2 月 8 日

教 職 員 各 位

保 健 管 理 セ ン タ ー

保 健 セ ミ ナ ー 開 催 の お 知 ら せ

このことについて、下記のとおり開催しますので、多数ご参加願います。

記

日 時 1 2 月 1 7 日 (土) 1 3 : 0 0 ~ 1 5 : 0 0

場 所 農 学 部 8 番 教 室

テ ー マ 「精 神 衛 生 に つ い て」

講 師 保 健 管 理 セ ン タ ー 助 教 授 田 中 実

### 3) 体育系サークル部員の健康管理についてのアンケート集計結果

昭和52年9月、学生部において体育系サークル主将あてに、別紙アンケートを実施した。  
その結果は、次のとおりである。

#### 記

アンケート依頼数	29
回答数	21
回答率	72.4%

#### 問1. 新入部員の体力測定について

区 分	回答数	比 率	備 考
実施している	2	9.5	1500m走、同タイム、百々ヶ峰、直登タイム、腹筋力
実施していない	19	90.5	

#### 問2. 入部に際しての身体上の条件について

区 分	回答数	比 率	備 考
あ る	1	4.8	視力・色覚
な し	19	90.5	

#### 問3. 日常、部員の健康管理についてどんなことを心掛けているか。

- ・ 部員の生活態度と練習時の様子を留意している。
- ・ 練習、試合中における態度、表情、訴えなどに注意する。
- ・ 体の調子の悪い時は無理に練習に参加させない。
- ・ 体をこわして無理をしている者がいないかどうか。
- ・ 無理せずに修行すること。
- ・ 特にアキレスけんを切らないよう十分準備体操をさせる。
- ・ 自由組手中にけがの起きる可能性があるので気を配っている。
- ・ 少々細身の人でも練習によって筋肉質になるし、けがのないようにすれば健康を害することはない。
- ・ はっきり言って個人にまかせてある状態である。

- ・ 自己管理にまかせている。
- ・ 個人にゆだねている。

問 4. 合宿訓練、遠征などに際して、健康診断を行っているか

区 分	回答数	比 率	備 考
実施している	2	9.5	内科、検尿、レントゲン
実施していない	19	90.5	

問 5. 体育大会等の出場に際して、健康診断書の提出が必要か

区 分	回答数	比 率	備 考
必要とする	3	14.3	保健管理センター、保健室に頼む
必要としない	16	76.2	
無 記 入	2	9.5	

問 6. 体育サークル部員の健康診断の受診徹底について

区 分	回答数	比 率	備 考
徹底している	9	42.8	
特にしていない	11	52.4	
無 記 入	1	4.8	

問 7. 秋の健康診断を実施する時期は何月頃を希望するか

区 分	回答数	比 率	区 分	回答数	比 率
9 月	12	57.1	11 月	2	9.5
10 月	6	28.6	無 記 入	1	4.8

問 8. 秋の健康診断では何の検査を希望するか

- ・ 血圧、検尿、レントゲン
- ・ 血圧、検尿、心電図
- ・ 内診、血圧、検尿、心電図、レントゲン
- ・ 検尿、血液（貧血）、心電図

- ・ 内科、検尿
- ・ 血圧、検尿、血液検査
- ・ 内臓疾患の有無
- ・ 内臓をくわしく
- ・ レントゲン、検尿
- ・ レントゲン
- ・ 血 圧

問 9. 体育系サークルのリーダーセミナー開催を希望するか

区 分	回答数	比 率
希 望 す る	6	28.6
希 望 し な い	13	61.9
無 記 入	2	9.5

問 10. 体力相談など、サークルで特に相談したいこと、聞きたいこと等について

- ・ 事故発生防止用のテーピング方法
- ・ 補強運動、サーキットトレーニングの理論的科学的な方法
- ・ 救急法（事故処置後の患者の扱い方を含む）
- ・ ランニングしたあと呼吸困難になって倒れた時の応急処置
- ・ 捻挫、打撲、脱臼、すじ違い、関節炎、アキレスけん切創などの防止と応急処置
- ・ 腰痛、肩痛などに対する普段の生活の注意事項
- ・ スポーツマッサージについて
- ・ 有効な基礎体力作りについて
- ・ 夏季における体力の消耗について
- ・ 救急法等については、強制的にその資格を取らせているのでよいと思う。

問 11. その他 保健管理センターへの希望意見等

- ・ 健康診断を受ける前の注意事項を徹底させてほしい。（全員が同じ条件のもとで受けられるように）
- ・ いつでも体力測定のできる場所がほしい。
- ・ 時間外（17時以降にも）に救急薬品等が使用できるように

- ・ 救急薬品の貸与
- ・ 日曜日合宿などがあるのでセンターが開いていると都合がよい。

(別紙)

各体育サークル部主将 殿

学生部

体育サークル部員の健康管理について（アンケート）のお願い

保健管理センターでは日頃皆さんの健康の保持増進について色々と相談に応じています。各サークルにおかれましても部員の健康管理については万全を期しておられることと存じますがその実態を把握し、今後の保健管理センター運営の参考にしたいのでご協力ください。（9月17日（土）までに厚生課へ提出願います。）

1. 新入部員の体力測定を実施していますか

実施している                       実施していない

a) 実施している場合、その時期は \_\_\_\_\_ 月頃

b) 実施している場合、測定項目を記入して下さい。

① \_\_\_\_\_                      ④ \_\_\_\_\_

② \_\_\_\_\_                      ⑤ \_\_\_\_\_

③ \_\_\_\_\_                      ⑥ \_\_\_\_\_

2. 入部に際して身体（体力）上の条件について

ある                                       ない

a) ある場合の条件とは、 \_\_\_\_\_

3. 平常の部員の健康管理について、具体的にどんなことを心掛けておられますか。

4. 合宿訓練、遠征などに際して健康診断を行っていますか。

行っている                               行っていない

行っている場合年間では およそ \_\_\_\_\_ 回

診断項目は \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

5. 体育大会等の出場に際して健康診断書の提出が必要ですか。

- 必要とする                       必要としない

必要とする場合、その診断書はどこで発行してもらいますか。

6. 体育サークル部員を対象に秋、健康診断を実施していますが各部員に受診の徹底をしていますか。

- している                       特にしていない

7. 秋の健康診断実施の時期は何月頃を希望しますか。\_\_\_\_\_月

8.            “            の検査項目では何を希望しますか。

9. 体育系サークルのリーダーセミナー（体育系サークルのリーダー及びこれに準ずる者を対象とし2～3泊の合宿により、リーダーシップの理論と実際、スポーツと健康基礎トレーニングの方法等について研修を行う）を開くとしたら参加を希望しますか。

- 希望する                       希望しない

10. 体力相談について、あなたのサークルで特に相談したいこと、聞きたいことなどについて順位をつけてあげてください。（例……救急法についての話を聞きたい）

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.

11. その他、保健管理センターへの希望ご意見があれば記入してください。

アンケートにご協力ありがとうございました。

## IV 定期健康診断等

### 1) 昭和52年度 健康診断等計画について

区 分	対 象 者	実施期日	検 査 項 目 等	
健 康 調 査	新入学生全員	入学式当日	健康管理カードの記入	
定 期 健 康 診 断	学部学生 } 大学院生 } 全員 短大生 } 教職員 } (6,500人)	4月中旬 ) 6月中旬	内科診察 エックス線間接撮影 身体計測(身長、体重、視力) 尿検査(蛋白、糖)(教職員については、35才以上の者) 血圧測定(35才以上の者及び医師が必要と認めた者) 健康管理カードによる既応症の検査	
	精密健診	要再検査者	4月下旬 ) 6月中旬	内科診察、エックス線直接撮影、尿検査、血圧測定、血沈、心電図
臨 時 健 康 診 断	卒業予定者健診	卒業予定者(1,250人)	9月下旬	エックス線間接撮影、尿検査、血圧測定、血液検査
	運動部員健診	運動部所属学生(900人)		エックス線直接撮影、尿検査、血圧測定、血沈、心電図
	精密健診	要再検査者	10月上旬	エックス線直接撮影、尿検査、血圧測定、血沈、心電図
	入学者選抜時健診	入学志願者中要精密検査者	3月下旬	内科診察、エックス線直接撮影、尿検査、血沈、眼科(視力、色覚)、耳鼻咽喉科(聴力)、整形外科
	教職員採用予定者健診	採用候補者	随 時	内科診察、エックス線直接撮影、身体計測、尿検査、血圧測定、血沈、その他必要な検査
特 別 健 康 診 断	継続観察者精密健診	要観察者	10月中旬	内科診察、エックス線直接撮影、尿検査、血圧測定、血沈、心電図
	胃集団健診	教職員(40才以上の者)	10月下旬	胃部エックス線(間接)撮影
	放射線取扱者健診	該当学生・教職員	随 時 (年4回)	血液検査、皮膚の検査
	特殊業務従事者健診	該当教職員	随 時	自覚症状の検査、眼の検査、上肢・頸部・背部・腰部の機能検査、平衡機能の検査、その他必要な検査
UPIテスト及び精神健康面接	新入生全員	5月下旬	UPIテスト及び身上調査書により個人別に面接を行う	



## 2) 定期健康診断について

### a) 実施要領

#### ア) 一般健診

1. 身体計測 (身長・体重・視力)
2. エックス線間接撮影
3. 検尿 

{	学生 ……………試験紙ウリステックス
	職員 35才以上の者……試験紙ウルヘマコンビステックス
4. 血圧測定 職員 35才以上の者
5. 内科診察

#### イ) 再検査及び精密検査

1. エックス線直接撮影
2. 検尿

第1次検尿において蛋白(±)以上の者について再検をすすめ、翌日の早朝尿を持参させるとともに来室時採尿再検査を行う。

第2次スクリーニングの方法として蛋白尿の場合は、早朝尿及び来室時尿ともユリフレット(PH、蛋白、糖、潜血)スルホサルチル酸法、スルホ後加熱、煮沸、尿沈査等の検査を行う。さらに必要によりPSPを実施する。糖尿の場合は、蛋白尿検査と同様に(±)以上の者について、食後1～2時間の尿及び血糖検査を行うが、さらに必要があればデキスターによる糖負荷試験を実施する。

3. 血圧 最高血圧が学生の場合 140 mmHg 以上、職員の場合 150 mmHg 以上、90 mmHg 以下の者、また最低血圧が90 mmHg 以上の者について再検査を行う。
4. 診察 内科診察における有所見者を対象として再診察を行い必要があれば、心電図、心音図、血液検査等を実施する。

#### ウ) 事後措置

再検後、直ちに事後指導として次のことを理解させる。

- ・健康診断の意義
- ・再検査について(不安解消も含めて)
- ・蛋白尿、尿糖について
- ・学医の指示について

・今後の生活指導

エ) 指示 (学医による)

放置 (正常) …事後指導とあわせて、今後検尿 (±) 以上で再検査をすすめられた時 (指示) は必ず受検し、その都度確認することが大切であることを認識させる。

要 観 察 …事後指導とあわせて、経過観察の大事なことを話し、自発的検尿は勿論のこと呼びかけには (検尿をセンターなどですすすめた時) 必ず応じるように指導 (定期的検尿の大切さを強調)

要 精 検 …1次、2次スクリーニングの結果を記入した依頼書を持たせ医学部附属病院等へ受診させ、その結果により学医の指導を受け保健指導を行う。

b) 昭和52年度 定期健康診断実施計画表

月日	曜	対象区分	対象	検査区分	検査項目	場所	時間	担当医師数	担当看護婦数	備考
4.21	木	教育学部4年、教育専攻科	教育学部4年、教育専攻科	一般	エックス線間接撮影 内科診察	教養部1号館演習室 長良保健室	13:30~16:30	3人	4人	
22	金	"	"	再	尿検査(職員は35才以上)	長良保健室	9:00~15:00		3	
25	月	"	"	"	一般検診	"	9:00~12:00		3	
27	水	教育学部3年	教育学部3年	一般	血圧測定(学生は尿検査で異常のあった者、職員は35才以上)	教養部1号館演習室 長良保健室 長良保健室	13:30~16:30	3	3	
28	木	"	"	再	身体計測	長良保健室	9:00~15:00		3	
5.2	月	"	"	"	再検査	長良保健室	9:00~12:00		3	
4	水	教養部(工学部2年、農学部2年)	教養部(工学部2年、農学部2年)	一般	血圧測定 尿検査	教養部1号館演習室 長良保健室	13:30~16:30	5	3	
6	金	"	"	再	再検査	長良保健室	9:00~15:00		3	
11	水	教養部(2年女子全員、教育学部2年、医学部2年)	教養部(2年女子全員、教育学部2年、医学部2年)	一般	エックス線直接撮影 内科診察 血圧測定 心電図	教養部1・5号館演習室 長良保健室 農学部学生控室 那加保健室	13:30~16:30	5	4	
12	木	工学部、工学研究科	工学部、工学研究科	"	精密検診	農学部学生控室 那加保健室	"	6	4	
12	木	教養部(2年女子全員、教育学部2年、医学部2年)	教養部(2年女子全員、教育学部2年、医学部2年)	再	再検査	長良保健室	9:00~15:00		2	
13	金	"	"	"	再検査	長良保健室	"		2	
13	金	農学部、農学研究科	農学部、農学研究科	一般	精密検診	農学部学生控室 那加保健室	13:30~16:30	5	4	
17	火	長良地区職員	長良地区職員	"	精密検診	長良保健室	"	3	5	
18	水	教養部(工学部1年、農学部1年)	教養部(工学部1年、農学部1年)	"	精密検診	長良保健室	"	5	4	
18	水	工学部、工学研究科	工学部、工学研究科	再	再検査	長良保健室	9:00~15:00		2	
19	木	那加地区職員	那加地区職員	一般	精密検診	那加保健室	13:30~16:30	5	5	
20	金	農学部、農学研究科	農学部、農学研究科	再	再検査	農学部学生控室	9:00~15:00		3	
20	金	長良地区職員	長良地区職員	"	精密検診	長良保健室	"		3	
23	月	"	"	"	精密検診	長良保健室	"		3	
23	月	短大1, 2年	短大1, 2年	一般	精密検診	那加保健室	17:00~19:00	1	2	
24	火	短大2, 3年	短大2, 3年	"	精密検診	那加保健室	"	1	2	
25	水	教養部(1年女子全員、教育学部1年、医学部1年)	教養部(1年女子全員、教育学部1年、医学部1年)	"	精密検診	教養部1号館演習室 長良保健室 長良保健室	13:30~16:30	5	4	
26	木	教養部(教育学部1年、医学部1年、1年女子全員)	教養部(教育学部1年、医学部1年、1年女子全員)	再	再検査	長良保健室	9:00~15:00		3	
26	木	那加地区職員	那加地区職員	"	精密検診	那加保健室	"		3	
27	金	教養部(教育学部1年、医学部1年、1年女子全員)	教養部(教育学部1年、医学部1年、1年女子全員)	"	精密検診	長良保健室	"		3	
6.1	水	短大	短大	"	精密検診	長良保健室	17:00~18:00		1	
2	木	司町地区職員	司町地区職員	一般	精密検診	附属病院外来棟前	13:30~16:30	5	5	
3	金	"	"	"	精密検診	"	"	4	4	
8	水	医学部、医学研究科	医学部、医学研究科	"	精密検診	医学部基礎玄關前	"	3	2	
17	金	長良地区学生・職員	長良地区学生・職員	再	再検査	長良保健室	13:30~14:30		2	
17	金	那加地区学生・職員	那加地区学生・職員	"	再検査	那加保健室	15:30~16:30		2	
17	金	司町地区学生・職員	司町地区学生・職員	"	再検査	附属病院外来棟前	10:00~12:00		2	
24	金	医学部、医学研究科	医学部、医学研究科	再	再検査	附属病院外来	13:30~16:30		2	

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

整理番号 教・工 医・農

<b>健康管理カード</b>	学部	氏名	性別	男・女
	学科	生年月日	昭和	運動部名

**健康調査**

次の項目で該当するものに○印を、該当しないものに×印をつけて下さい。

項 目	回答欄	項 目	回答欄
よく風邪をひく		めまい・立ちくらみがすることがある	
ひどい寝汗をかくことがある		息苦しくなって困ることがある	
口が渇くことがある		疲れやすく元気がない	
顔や下肢がむくむことがある		手足のつることがある	
おなかをよくこわす		めだって体重が増減したことがある	
よく便秘する		関節・腰などに痛みを感じるがある	
頭が重かったり痛んだりすることがある		薬剤使用後に熱や発疹が出たり、気分が悪くなったことがある(例:ペニシリン・サルファ剤)	
身内に脳卒中で亡くなった者がいる		身内に高血圧の者がいる	
身内に結核で亡くなった者がいる		身内に結核の者がいる	
身内にがんで亡くなった者がいる		身内にがんの者がいる	
中・高校時代疾病により長期欠席(3か月以上)したことがある		身内に糖尿病の者がいる	
血液は何型ですか	A. B. O. AB(RH +, -)	身内に肝臓病の者がいる	

次のような病気にかかったことがあれば、何才の時か記入して下さい。

肺結核	才	その他の結核	才	心疾患	才	腎疾患	才	肝疾患	才
気管支喘息	才	貧血	才	リウマチ	才	小児まひ	才	てんかん	才
ノイローゼ	才	精神神経疾患	才	交通事故による疾患	才	その他( )			才

**健康診断再検査**

検査項目	実施期日									
	..	..	..	..	..	..	..	..	..	..
エックス線(直接)	所見									
血沈	1時間値									
	2時間値									
血圧測定										
尿 区 分	蛋白質									
	糖									
	ウロビリノーゲン									
	PH									
	潜血反応									
備考	その他									

**精密検査記録**

年月日	検査名	結 果
..		
..		
..		
..		
..		

**受診記録**

年月日	傷 病 名	年月日	傷 病 名
..		..	
..		..	
..		..	
..		..	
..		..	

### 定期健康診断

検査項目		検査期日	入試健診	・	・	・	・	・	・	・	・
身	長 (cm)		・	・	・	・	・	・	・	・	・
体	重 (kg)		・	・	・	・	・	・	・	・	・
胸	囲 (cm)		・	・	・	・	・	・	・	・	・
座	高 (cm)		・	・	・	・	・	・	・	・	・
眼	視 力	右	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		左	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	色 覚										
	屈折異常										
眼 疾											
耳	聴 力	右									
		左									
	耳 疾										
鼻 及 び 咽 喉											
皮 膚 疾 患											
エ ン ク ス 接 種	番 号										
	所 見										
ツ 反 C 及 び G	ツ 反										
	B C G 接種年月										
	陽 転 年 月										
血 圧 測 定											
尿	蛋 白										
	糖										
	ウロビリノーゲン										
栄 養											
脊 柱											
胸 部											
そ の 他											
概 評											

### 臨時健康診断

検査項目		健康診断名	検査期日	・	・	・	・	・	・	・	・
エ ン ク ス 接 種	番 号										
	所 見										
血 圧 測 定											
尿	蛋 白										
	糖										
	ウロビリノーゲン										
概 評											

学部		学科		氏名	
----	--	----	--	----	--

昭和一十一年度定期健康診断実施結果

(学部学生及び短期大学部学生)

学部	年次	在学学生数	休学者数		対象者数	受診者数	受診率	未受診者数	エックス線撮影			内科診察				尿検査				血検査							
			疾病によるもの	疾病以外によるもの					受診者数	要項接撮影者数	要観察者数	受診者数	間接撮影による有所見者数	聴打診による有所見者数	再検査後の要観察者数	再検査未受診者数	内科診察数	検査件数	心電図	血液検査	受検者数	要再検者数	要観察者数	再検未受検者数	要再検者数	要観察者数	再検未受検者数
教養部	1	942	0	3	939	896	95.4%	48	896	3	1	896	1	13	3	9	11	11	98	23	19	19	7	1	43	80	9
	2	1,012	3	6	1,003	875	87.2	128	875	11		872	0	8				62			18						
	計	1,954	3	9	1,942	1,771	91.2	171	1,771	14	1	1,768	1	21	3	9	11	11	1,743	160	23	19	37	7	1	82	80
教育学部	3	338	0	0	338	302	89.3	36	300	1		298	7	3				29	23	3	5	8	1	18	16	2	
	4	362	0	2	360	327	90.8	33	324	3		324	3					26			11			14			
	計	700	0	2	698	629	90.1	69	624	4	0	622	0	10	3	0	10	10	55	23	3	16	8	1	32	16	2
医学部	1	84	0	0	84	80	95.2	4	80	1		80	6					6								3	
	2	87	1	0	86	77	89.5	9	77	3	2	71	2	1	7	12	1	7	2	3					1	4	1
	3	75	0	0	75	70	93.3	5	70	2		70	5					3							2		
	4	84	0	0	84	88	98.8	1	88	5		80	6					6							4		
計	330	1	0	329	310	94.2	19	310	11	2	301	0	19	1	7	12	1	300	22	2	8	0	0	10	4	1	
工学部	3	304	0	1	303	237	78.2	66	203	3		237	1	6	6	10	3	237	8	7		8	13		14	13	
	4	369	1	8	360	314	87.2	46	307	1		314	0	3				314	22			10			32		
	計	673	1	9	663	551	83.1	112	510	4	0	551	1	9	6	0	10	3	551	30	7	0	18	13	0	46	13
農学部	3	212	2	3	207	179	86.5	28	179			179	2	1			5	179	14	4	2	3	6		12	1	2
	4	217	1	3	213	197	92.5	16	197	1		197	2					197	13			5			16		
	計	429	3	6	420	376	89.5	44	376	1	0	376	0	4	1		5	376	27	4	2	8	6	0	28	1	2
小計	4,086	8	26	4,052	3,637	89.8	415	3,591	34	3	3,618	2	63	14	16	48	25	3,555	294	59	27	79	34	2	198	64	14
工業短期大学部	1	169	0	1	168	144	85.7	24	144	1		0															
	2	160	0	3	157	123	78.3	34	123			123															
	3	241	0	11	230	105	45.7	125	103																		
計	570	0	15	555	372	67.0	188	372	2	0	226	0	0	0	0	0	0										
合計	4,656	8	41	4,067	4,009	87.0	598	3,963	36	3	3,844	2	63	14	16	50	25	3,555	294	59	27	79	34	2	198	64	14

(研究科生)

研究科	年次	在学学生数	休学者数		対象者数	受診者数	受診率 %	未受診者数	エックス線撮影			内科診察			尿蛋白			検査										
			疾病によるもの	疾病以外によるもの					受診者数	要直接撮影者数	要観察者数	受診者数	間接撮影による有所見者数	聴打診による有所見者数	再検査後の要観察者数	再検査未受診者数	内科診察	検査件数	検査者数	要再検査者数	要観察者数	再検査未受診者数	要再検査者数	要観察者数	再検査未受診者数			
医学研究科	1	8		0	8	6	75.0	2	6	6									6	0		0						
	2	7		0	7	4	57.1	3	3	4	1	0	0						4	0		0						
	3	9		2	7	4	57.1	3	4	4									4	1	1	0	0					
	4	9		0	9	5	55.6	4	3	5									5	0		0						
計		38		2	31	19	61.8	12	16	19	1	0	0					19	1	1	0	0	0	0				
工学研究科	1	63		0	63	60	95.2	3	52	60		4							60	1		2		4				
	2	47		0	47	43	91.5	4	43	43	0	1	0						43	2	1	0	2	4	1	0		
	計	110		0	110	103	93.6	7	95	103	0	5	1	0					103	3	1	0	4	4	0	8	1	0
農学研究科	1	40		0	40	33	82.5	7	33	33		1							33	1		0		0		2		0
	2	48		1	47	45	95.7	2	45	45	0	1	0						45	2	1	0	2	2	0	4	1	0
	計	88		1	87	78	89.7	9	78	78	0	2	0	0					78	3	1	0	2	2	0	6	1	0
合計		281		3	228	200	87.7	28	189	200	0	7	1	0	7	1	0	7	200	7	3	0	6	6	0	14	2	0

昭和52年度健康診断実施結果

(学部学生及び短期大学部学生)

学部	学年	在学生数	休学者数		対象者数	受診者数	受診率	未受診者数	エックス線撮影				内科診				検査後				尿検査															
			疾病によるもの	疾病以外によるもの					受診者数	要直接撮影者数	要観察者数	要治療者数	受診者数	聴打診による有所見者数	問接撮影による心臓有所見者数	正常者数	要観察者数	要治療者数	未受診者数	内科診察	心電図	血液検査・その他	検査者数	要再検査者数	要観察者数	要治療者数	再検査未受検者数	要再検査者数	要観察者数	要治療者数	再検査未受検者数					
教養部	1	946	0	5	941	906	96.6%	35	906	6	0	0	905	0	8					887	60							2								
	2	991	1	17	973	849	87.3	124	849	6	0	1	847	0	19					838	68							3								
教育学部	計	1,937	1	22	1,914	1,755	91.7	159	1,755	12	0	1	1,752	0	27	21	6	0	0	1,725	128	39	0	0	5	4	0	0								
	3	388	0	0	388	313	94.0	20	313	2	0	0	310	0	8					300	18							0								
医学部	4	388	2	3	383	349	91.1	34	349	3	0	0	349	0	12					347	19							4								
	計	721	2	3	716	662	92.4	54	662	5	0	0	659	0	20	17	3	0	0	647	37	4	0	10	4	3	0	1								
工学部	1	76	0	0	76	74	97.4	2	74	4	0	0	74	1	2					74	1							1								
	2	88	0	0	88	81	92.0	7	81	2	0	0	81	0	5					81	6							0								
農学部	3	83	0	0	83	81	97.6	2	81	0	0	0	81	1	0					81	1							2								
	4	76	0	0	76	76	100.0	0	76	4	0	0	76	0	3					76	2							0								
工学部	計	323	0	0	323	312	96.6	11	312	10	0	0	312	2	10	12	0	0	0	312	10	0	0	0	3	1	0	1								
	8	323	0	0	323	296	91.6	27	296	1	0	0	296	0	4					296	9							2								
農学部	4	354	0	6	348	311	89.4	37	311	0	0	0	311	0	5					311	10							3								
	計	677	0	6	671	607	90.5	64	607	1	0	0	607	0	9	9	0	0	0	607	19	5	1	1	5	2	0	0								
工学部	3	204	0	2	202	193	95.5	9	192	2	0	1	193	0	3					193	11							1								
	4	224	0	3	221	204	92.3	17	208	0	0	0	203	0	4					203	5							4								
農学部	計	428	0	5	423	397	93.9	26	395	2	0	1	396	0	7	6	1	0	0	396	16	4	0	0	5	2	0	0								
	小計	4,086	3	36	4,047	3,733	92.1	314	3,731	30	0	2	3,726	2	73	65	10	0	0	3,687	210	52	1	11	22	12	0	2								
工学部	1	156	0	2	154	109	70.8	45	109	0	0	0																								
	2	164	1	8	160	106	66.3	54	106	1	0	1	106																							
短期大学部	3	258	0	23	230	115	50.0	115	115	0	0	0	115	1																						
	計	578	1	28	544	380	60.7	214	380	1	0	1	221	1	1	1	1	0	0																	
合計		4,659	4	64	4,591	4,063	88.5	528	4,061	31	0	8	3,947	3	74	66	11	0	0	3,687	210	52	1	11	22	12	0	2								





昭和50年度一般定期健康診断実施結果（職員）

区分	胸部X線間接撮影				胸部X線直接撮影				血圧測定				尿検査				胃検査				内科検査								
	対象者	実受人員診	延受人員診	受診率	実観経施数察過	対象者	実受人員診	延受人員診	受診率	実観経施数察過	対象者	実受人員診	延受人員診	受診率	実観経施数察過	対象者	実受人員診	延受人員診	受診率	実観経施数察過	対象者	実受人員診	延受人員診	受診率	実観経施数察過				
事務局・学生部 (保健管理センターを含む)	98	89	89	90.8	0	0	0	0	—	0	52	40	40	76.9	2	52	40	40	76.9	6	42	24	24	57.1	98	80	80	88.9	0
教育学部	213	183	183	85.9	0	4	4	4	100	1	145	111	119	76.6	4	145	101	115	70.0	5	110	46	46	41.8	213	183	183	85.9	0
医学部	190	124	125	65.3	0	8	8	8	100	2	84	41	41	50.6	0	84	39	39	46.4	0	68	31	31	45.6	190	124	124	65.3	0
医学部附属病院	520	373	375	71.7	0	16	13	13	81.2	6	264	170	170	64.4	0	264	172	172	65.2	0	211	138	138	65.4	520	373	373	71.7	0
工学部	180	138	138	76.7	0	5	5	5	100	1	92	63	63	68.5	4	92	60	60	64.5	7	76	46	46	60.5	180	138	138	76.7	0
農学部	162	136	138	84.0	0	8	8	8	100	2	122	88	100	72.1	8	122	86	107	70.5	7	99	68	68	68.7	162	136	136	84.0	0
教養部	71	62	68	87.3	0	4	2	2	50.0	1	48	40	42	83.3	0	48	38	41	79.2	0	42	14	14	33.3	71	62	62	87.3	0
附属図書館	24	24	24	100	0	0	0	0	—	0	11	11	11	100	0	11	11	11	100	0	9	5	5	55.6	24	24	24	100	0
工業短期大学部	89	31	31	79.5	0	2	2	2	100	0	21	15	15	71.4	0	21	16	16	76.2	0	15	6	6	40.0	89	31	31	79.5	0
計	1,497	1,160	1,166	77.5	0	47	42	42	89.4	13	924	664	686	71.9	18	918	642	680	70.0	26	781	468	468	59.9	1,497	1,151	1,151	76.9	0

注：( )内数字は、希望者数を示す。

昭和51年度一般定期健康診断実施結果(職員)

区分	胸部X線間接撮影				胸部X線直接撮影				血生化学				尿検査				胃検査				内科検査											
	対象者	実受人自診	延受人自診	受診率	実受人自診	延受人自診	受診率	実観検査過	対象者	実受人自診	延受人自診	受診率	実観検査過	対象者	実受人自診	延受人自診	受診率	実観検査過	対象者	実受人自診	延受人自診	受診率	実観検査過	対象者	実受人自診	延受人自診	受診率	実観検査過	対象者	実受人自診	延受人自診	受診率
事務局・学生部 (保健管理センターを含む)	97	86	86	88.7	0	1	1	100	0	58	41	41	70.7	2	58	36	36	62.1	6	38	14	14	36.8	97	84	84	88.4	0	97	84	84	88.4
教育学部	215	179	181	83.3	0	5	5	100	1	142	97	97	68.3	2	142	91	91	64.1	3	108	32	32	29.9	215	179	179	83.3	0	215	179	179	83.3
医学部	185	84	84	45.4	0	6	6	100	2	84	33	33	39.3	0	84	23	23	27.4	0	69	38	38	53.5	185	84	84	45.4	0	185	84	84	45.4
医学部附属病院	529	397	405	73.2	0	25	25	100	7	266	231	231	86.8	0	266	206	206	77.4	0	206	129	129	62.6	529	397	397	73.2	0	529	397	397	73.2
工学部	177	139	139	78.5	0	4	4	100	1	99	57	57	57.6	4	99	55	55	55.6	9	75	35	35	46.7	177	139	139	78.5	0	177	139	139	78.5
農学部	159	99	106	62.3	0	7	7	100	2	117	72	73	61.5	3	117	74	84	63.2	16	95	55	55	57.9	159	99	99	62.3	0	159	99	99	62.3
教養部	72	64	67	88.9	0	4	3	75.0	1	51	35	37	68.6	0	51	33	35	64.7	0	43	16	16	37.2	72	64	64	88.9	0	72	64	64	88.9
附属図書館	24	24	24	100	0	2	2	100	0	11	11	11	100	1	11	11	11	100	2	10	1	1	10.0	24	24	24	100	0	24	24	24	100
工業短期大学部	35	29	29	82.9	0	3	3	100	0	21	17	17	81.0	0	21	16	16	76.2	0	13	4	4	30.8	35	29	29	82.9	0	35	29	29	82.9
計	1,493	1,101	1,121	73.7	0	57	56	98.2	14	849	594	597	70.0	12	849	545	557	64.2	36	657	324	324	49.3	1,493	1,099	1,099	73.6	0	1,493	1,099	1,099	73.6

注：( )内数字は、希望数を示す。

3) 昭和51・52年度卒業予定者・運動部学生健康診断

昭和52年度卒業予定者及び体育系サークル学生の健康診断実施計画表

月 日	時間	対 象	対象人員	場 所
9月20日(火)	13:30	工・農学部卒業予定者(研究科修了 予定者を含む)	682	那 加 保 健 室
22日(木)	16:30	那加地区体育サークル学生 定期健康診断未受検者	300 96	
9月21日(水)	12:30 15:30	長良地区体育サークル学生 定期健康診断未受検者	550 220	
	17:30 19:30	工業短期大学部卒業予定者	250	那 加 保 健 室
9月22日(木)	9:30 15:00	長良地区体育サークル学生再検査	該当者	長 良 保 健 室 保健管理センター
9月24日(土)	12:00 14:00	医学部卒業予定者 医学部体育サークル学生 定期健康診断未受検者	76 259 26	医 学 部
10月4日(火)	9:30	教育学部卒業予定者	384	長 良 保 健 室 保健管理センター
10月7日(金)	15:00			
9月27日(火)	9:30	那加地区学生再検査	該当者	那 加 保 健 室
9月29日(木)	15:00			
9月28日(水)	17:00 18:00	工業短期大学部学生再検査	該当者	〃
10月12日(水)	9:30	教育学部卒業予定者(血圧・検尿) 再検査	該当者	長 良 保 健 室 保健管理センター
10月14日(金)	15:00			
10月12日(水)	9:30	教育学部卒業予定者	未受検者	〃
10月14日(金)	15:00			
		医学部学生再検査	該当者	医 学 部

※教育学部卒業予定者には十月三日(月)午前・午後二回に分けて健康診断の意義・健康管理について説明を行う。

検査項目

- (1) エックス線胸部撮影(間接及び直接)……医学部卒業予定者のみ
- (2) 尿 検 査(蛋白・糖)
- (3) 血 圧 測 定
- (4) 貧 血 検 査(ヘモグロビン・ヘマトクリット・赤血球・血清蛋白)…教育学部卒業  
予定者のみ
- (5) 身 体 計 測(身長・体重)……教育学部卒業予定者のみ

昭和51年度卒業予定者及び運動部学生健康診断実施状況

区	分	在学生数	体育生数	対象者数	受診者数	受診率	エックス線撮影			血圧測定			尿検査					
							受診者数	要直接撮影者数	要観察者数	要観察者数	再検査の要観察者数	再検査未受検者数	要検査者数	再検査の要観察者数	再検査未受検者数	要検査者数	再検査の要観察者数	再検査未受検者数
卒業予定者	教育学部	359	3	330	293	88.8%				18	4	1	20	8	0	1	1	0
	医学部	84	0	84	78	92.9	78	5	0	3	1	0	2	1	0	0	0	0
	工学部	369	9	314	284	90.4				11	1	0	13	6	0	5	4	0
	農学部	215	4	200	179	89.5				11	0	1	8	1	0	0	0	0
	計	1,027	16	928	834	89.9	78	5	0	43	6	2	43	16	0	6	5	0
運動部学生	工学研究科	47	0	45	48	95.6				1	0	0	2	1	0	1	1	0
	農学研究科	48	2	46	39	84.8				2	0	0	0	0	0	1	1	0
	計	95	2	91	82	90.1				3	0	0	2	1	0	2	2	0
	短期大学部	239	9	230	73	31.7				2	0	0	3	1	0	1	0	0
	小計	1,361	27	1,249	989	79.2	78	5	0	48	6	2	48	18	0	9	7	0
	長良地区			470	103	21.9				10	2	2	8	2	2	2	1	0
	那加地区			340	39	11.5				0	0	0	1	1	0	1	0	0
	医学部			182	90	49.5	4	0	0	1	0	0	4	0	0	0	0	0
	小計			992	232	23.4	4	0	0	11	2	2	13	3	2	3	1	0
	合計	1,361	27	2,241	1,221	54.5	82	5	0	59	8	4	61	21	2	12	8	0

昭和52年度卒業予定者及び運動部学生健康診断実施状況

区	分	在学生数	休学生数	対象者数	受診者数	エックス線撮影			血圧測定			尿検査			血液検査 (ヘマトクリット ヘモグロビン 赤血球・血清蛋白)			
						要直接 撮影者数	要観察 者数	再 要 検査 者数	再 要 検査 者数	再 要 検査 者数	再 要 検査 者数	再 要 検査 者数	再 要 検査 者数	再 要 検査 者数	再 要 検査 者数	再 要 検査 者数	再 要 検査 者数	
学	教育学部	384	4	361	353	97.8%			21	6	1	19	3	3	4	2	1	0
	医学部	75	0	75	68	90.7	66	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	工学部	358	6	318	302	95.0			27	4	0	9	0	0	6	4	0	0
	農学部	224	3	208	178	85.6			17	4	0	10	1	2	2	2	0	0
計		1,036	13	962	901	93.7	66	3	69	14	1	38	4	5	12	8	1	0
研究科	工学研究科	64	1	63	57	90.5			5	0	0	0	0	0	1	1	0	0
	農学研究科	40	0	39	38	84.6			0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
計		104	1	102	90	88.2			5	0	0	1	0	0	1	1	0	0
短期大学部		247	17	230	100	43.5			3	2	1	2	1	0	1	1	0	0
小計		1,387	31	1,294	1,091	84.3	66	3	77	16	2	41	5	5	14	10	1	0
長良地区				500	164	32.8			11	5	2	25	1	0	9	1	0	0
那加地区				250	28	11.2			5	0	2	0	0	0	0	0	0	0
医学部				195	106	54.4			9	2	2	2	1	0	0	0	0	0
小計				945	298	31.5			25	7	6	27	2	0	9	1	0	0
合計		1,387	31	2,239	1,389	62.0	66	3	102	23	8	68	7	5	23	11	1	0

4) 昭和50年度特別定期健康診断実施結果

検査項目 部局	病原体 (4号)			チエソナー (5号)			放射線 (2号)			タイピスト (3号)			理学療法士 (4号)			深夜作業 (6号)			自動車運転手 (7号)			調理配せん (8号)					
	対象者	受診実人員	受診率	対象者	受診実人員	受診率	対象者	受診実人員	受診率	対象者	受診実人員	受診率	対象者	受診実人員	受診率	対象者	受診実人員	受診率	対象者	受診実人員	受診率	対象者	受診実人員	受診率			
事務局・学生部										3	3	100	0			3	3	100	0			3	3	100	0		
教育学部							4	4	100	0						3	3	100	0			1	1	100	0		
医学部	108	69	63.9	0			30	25	83.3	0						2	2	100	0			2	2	100	0		
医学部附属病院	346	324	93.6	0			123	60	48.8	0						1	1	100	0			2	2	100	0		
工学部							8	0	0	0						2	2	100	0			2	2	100	0		
農学部							8	6	75.0	0																	
教養部							13	11	84.6	0						1	1	100	0			6	6	100	0		
附属図書館							18	9	50.0	0																	
工業短期大学部							1	1	100	0						1	1	100	0			1	1	100	0		
計	428	398	92.9	0	2	0	175	97	55.4	0	15	13	17	86.7	0	170	144	84.7	0	18	21	100	0	36	36	100	0

注 1. 放射線の上段数字は、問診及び皮膚の検査、下段数字は血液の検査を示す。  
 2. 調理配せんの上段数字は、伝染病の検査、下段数字は寄生虫及び皮膚の検査を示す。

# 昭和51年度特別定期健康診断実施結果

検査項目 部局	病原体 (4号)			チェンソー (5号)			放射線 (2号)			タイピスト (3号)			理学療法士 (4号)			深夜作業 (6号)			自動車運転手(7号)			調理配せん (8号)									
	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率	実施観察	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率	実施観察	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率	実施観察	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率	実施観察	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率	実施観察						
事務局・学生部											6	5	5	83.3	0	2	2	2	100	0	3	3	3	100	0	1	1	7	100	0	
教育学部						4	4	4	100	0	3	3	3	100	0	1	1	1	100	0	1	1	1	100	0	7	7	71	100	0	
医学部	112	45	45	40.2	0	29	24	38	82.8	0	1	1	1	100	0	2	2	2	100	0	2	1	1	50.0	0						
医学部附属病院	363	284	284	78.2	0	133	59	223	44.4	0	1	1	1	100	0	174	138	138	79.3	0	2	2	2	100	0	23	22	264	95.7	0	
工学部						9	5	5	55.6	0	2	2	2	100	0						1	1	1	100	0						
農学部						7	7	13	100	0	1	1	1	100	0	2	2	2	100	0	2	2	2	100	0	2	2	17	100	0	
教養部						1	1	1	100	0	1	1	1	100	0						1	1	1	100	0						
附属図書館						2	2	2	100	0																					
工業短期大学部																															
計	475	329	329	69.3	0	179	96	280	53.6	0	18	17	17	94.4	0	181	145	145	80.1	0	13	12	12	92.3	0	33	32	359	97.0	0	
						179	95	167	53.1	0																33	29	29	87.9	0	

注 1. 放射線の上段数字は、問診及び皮膚の検査、下段数字は血液の検査を示す。  
 2. 調理配せんの上段数字は、伝染病の検査、下段数字は寄生虫及び皮膚の検査を示す。



## 5) 入学志願者の健康診断

### a) 昭和52年度岐阜大学入学者選抜時の健康診断実施要領（昭和51.1.14）

「昭和52年度入学者選抜実施要項について」（昭和51年4月10日付文大大第135号文部省大学学術局長通知）に基づき本学入学者選抜時の健康診断は下記要領により実施するものとする。

#### 記

#### 1. 健康状況のはあく

入学志願者の健康状況のはあくについては、調査書の「健康の状況」の記載によることを原則とする。ただし昭和49年度以前の高等学校卒業者及び大学入学資格検定の合格者等調査書を提出することができない者については、医師が証明する本学所定の健康診断書によるものとする。

#### 2. 調査書（健康の状況）及び健康診断書の審査

学長から委嘱された健康診断医があらかじめ審査し、精密検査の要・不要を判定する。

#### 3. 精密検査

健康診断医が必要と判定した者に対しては、学力検査当日、次の項目について検査を行うものとする。

- (1) エックス線直接撮影 (2) 血沈 (3) 尿 (4) 内科 (5) 眼科  
(6) 耳鼻咽喉科 (7) 整形外科 (8) その他必要事項

#### 4. 入学適否の判定

健康診断医は合議のうえ、次の区分により入学の適否を判定する。

- A. 入学を適当と認められた者  
B. 教授会で協議を要する者  
C. 入学を不適当と認められた者

### b) 昭和52年度岐阜大学入学者選抜時の健康診断判定基準（昭和51.1.14）

入学者選抜時の健康診断は、昭和51年4月10日付文大大第135号通達に準拠して実施し、本学の特質を考慮して入学の適否を判定する基準を次のとおり定める。

#### 記

#### 1. 入学を許可しない方針のもの

- (イ) 矯正視力が両眼ともに0.1以下の者（1眼が0.2以上あれば差し支えない。）

医学部においては、以下の外次に該当する者

- (1) 矯正視力が1眼 0.02以下、他眼 0.5以下の者（1眼が失明していても、他眼の矯正視力が0.6以上あれば差し支えない。）
- (2) 視野が、両眼ともに10度以内の者
- (3) 両眼による視野の2分の1以上が欠けている者

(ロ) 色覚異常について

教育学部美術工芸学科・農学部獣医学科においては、色盲・色弱の者

(ハ) 聴覚異常について

医学部においては、両耳の損失が会話了解域において60デシベル以上の者

2. 健康診断医の所見に基づき、各学部教授会において協議のうえ判定するもの

疾病若しくは身体の障害等により、長期にわたり休学を要する者又は修学上困難があると認められた者

c) 昭和51年度入学者選抜時の健康診断精密検査受診結果

1. 該当者数

学部	検査項目	内科 診察	X線 直接 撮影	血沈	検尿	眼疾 視力	色覚	聴力	整形 外科	合計	
										延人員	実人員
教育学部		10	1	1	7	0	0	1	0	20	11
		7	0	0	4	0	0	1	0	12	8
医学部		9	1	1	0	1	0	1	0	13	11
		3	0	0	0	0	0	0	0	3	3
工学部		28	8	2	10	3	0	6	2	59	38
		20	6	2	7	1	0	4	2	42	27
農学部		13	3	4	6	0	6	2	0	34	21
		4	1	1	1	0	5	2	0	14	11
計		60	13	8	23	4	6	10	2	126	81
		34	7	3	12	1	5	7	2	71	49

(注) 上段数字は、書類審査による該当数、下段数字は、精密検査受診者数を示す。

2. 判定結果

A 入学を適当と認められた者 40人

B 教授会で協議を要する者 7人

C 入学を不相当と認められた者 2人

c) 昭和52年度入学者選抜時の健康診断精密検査受診結果

1. 該当者数

学部	検査項目 内科 診察	X線 直接 撮影	血沈	検尿	眼疾 視力	色覚	聴力	整形 外科	計	
									延人員	実人員
教育学部	9	0	0	0	0	0	0	0	9	9
	7	0	0	0	0	0	0	0	7	7
医学部	17	2	2	6	25	0	0	0	52	43
	8	1	1	1	16	0	0	0	27	24
工学部	33	8	4	11	1	0	1	1	59	36
	27	8	4	9	1	0	1	1	51	30
農学部	23	4	4	7	0	3	0	1	42	27
	14	2	1	5	0	1	0	1	24	16
計	82	14	10	24	26	3	1	2	162	115
	56	11	6	15	17	1	1	2	109	77

(注) 上段数字は、書類審査による該当数、下段数字は、精密検査受診者数を示す。

2. 判定結果

A 入学を適当と認められた者 73人

B 教授会で協議を要する者 2人

C 入学を不相当と認められた者 2人

6) UPIテストによる新入生個別面接

a) 新入生の精神衛生について

精神不安定者を早期に発見し適切な指導助言を与えるため、定期健康診断の一環として昭和42年度から新入生全員を対象とした個別面接を実施している。

要領: UPIテスト、身上調査書を資料として1人約4～5分の面接を行い応答者の態度や内容によって異常者の発見をはかるとともに集団生活・修学上の諸問題について適切な指導助言を行う。面接の結果、さらに詳しく面接を要する者について把握し、事後指導を行う。

面接担当者は、教育学部並びに教養部の心理学担当教官、医学部附属病院の神経科担当医師及び保健管理センター保健管理医に委嘱した。

b) 昭和51年度入学者のUPIテストによる個別面接実施結果

学 部	面接対象者数	面 接 済 者 数				受検率	未面接者数	要再面接者数	再面接済者数
		6月16日	6月23日	6月30日～7月2日	計				
教育学部	341人	—人	280人	36人	316人	92.7%	25人	—人	—人
医学部	84	—	72	5	77	91.7	7	1	1
工学部	302	223	24	20	267	88.4	35	5	3
農学部	205	144	19	14	177	86.3	28	1	—
合計	932	367	395	75	837	89.8	95	7	4

昭和52年度入学者のUPIテストによる個別面接実施結果

学 部	面接対象者数	面 接 済 者 数				受検率	未面接者数	要再面接者数	再面接済者数
		6月22日	6月29日	7月4日～7月8日	計				
教育学部	335人	286人	28人	6人	320人	95.5%	15人	35人	30人
医学部	84	55	13	2	70	83.3	14	3	3
工学部	317	11	234	24	269	84.9	48	14	12
農学部	209	7	162	11	180	86.1	29	15	12
合計	945	359	437	43	839	88.8	106	67	57



7) 昭和50年度の休学・退学者数調

理由		区分		休学者数							退学者数						
		学部		教 育	医	工	農	大 学 院	工 業 短 大	計	教 育	医	工	農	大 学 院	工 業 短 大	計
病 気 の た め	精神障害			1		4	1			7	1						1
	結核																
	その他			4	1	3	3	1		12	1		1			1	3
	小計			5	2	7	4	1		19	2		1			1	4
一身上都合				4		10	16	1	11	42	6	1	7	6		23	43
家事都合				4	3	6	4	3	6	26		3		1		10	14
勤務都合									13	13						10	10
死亡											2						2
その他						2	5			7	2		5	2	5	25	39
計				13	5	25	29	5	30	107	12	4	13	9	5	69	112

昭和51年度の休学・退学者数調

理由		区分		休学者数							退学者数						
		学部		教 育	医	工	農	大 学 院	工 業 短 大	計	教 育	医	工	農	大 学 院	工 業 短 大	計
病 気 の た め	精神障害												1				1
	結核						1	1		2							
	その他			1	1	6	2		4	14						1	1
	小計			1	1	6	3	1	4	16			1			1	2
一身上都合				6	2	13	12	1	8	42	8		8	6	5	13	40
家事都合				3		8	8		3	22	1		3	3		7	14
勤務都合									10	10						14	14
死亡																	
その他				2		5	3			10	4	3	19	6	2	33	67
計				12	3	32	26	2	25	100	13	3	31	15	7	68	137

8) 保健室等利用状況

a) 昭和51年度 保健管理センター利用状況

区 分		学 生			職 員			
		長 良	那 加	計	長 良	那 加	計	
相 談 的 面	精 神 的 面	548	191	739	31	69	100	
	身 体 的 面	内 科	371	3	374	42	18	60
		外 科	16	1	17	3		3
		整 形 外 科	31	1	32			
		眼 科	26		26	5		5
		耳 鼻 咽 喉 科	19		19	1		1
		皮 膚 科	11	1	12	1	1	2
		歯 科	4		4	1		1
	そ の 他	50		50	7	13	20	
計	1,076	197	1,273	91	101	192		
検 査	脳 波	6		6				
	心 電 図	1		1				
	血 圧	45		45	18	1	19	
	尿	221	1	222	13	1	14	
	血 液	29		29	3		3	
	そ の 他	3		3	2		2	
計	305	1	306	36	2	38		
他 の 医 療 機 関 へ 紹 介	内 科	尿蛋白陽性のため	12	1	13			
		尿糖陽性のため						
	そ の 他	19	2	21	4		4	
	外 科	5	1	6	1		1	
	整 形 外 科	6		6				
	眼 科	14		14	3		3	
	耳 鼻 咽 喉 科	10		10	1		1	
	皮 膚 科	4		4				
	歯 科	2		2				
	そ の 他							
計	72	4	76	9		9		
延 件 数		1,453	202	1,655	136	103	239	

昭和52年度 保健管理センター利用状況

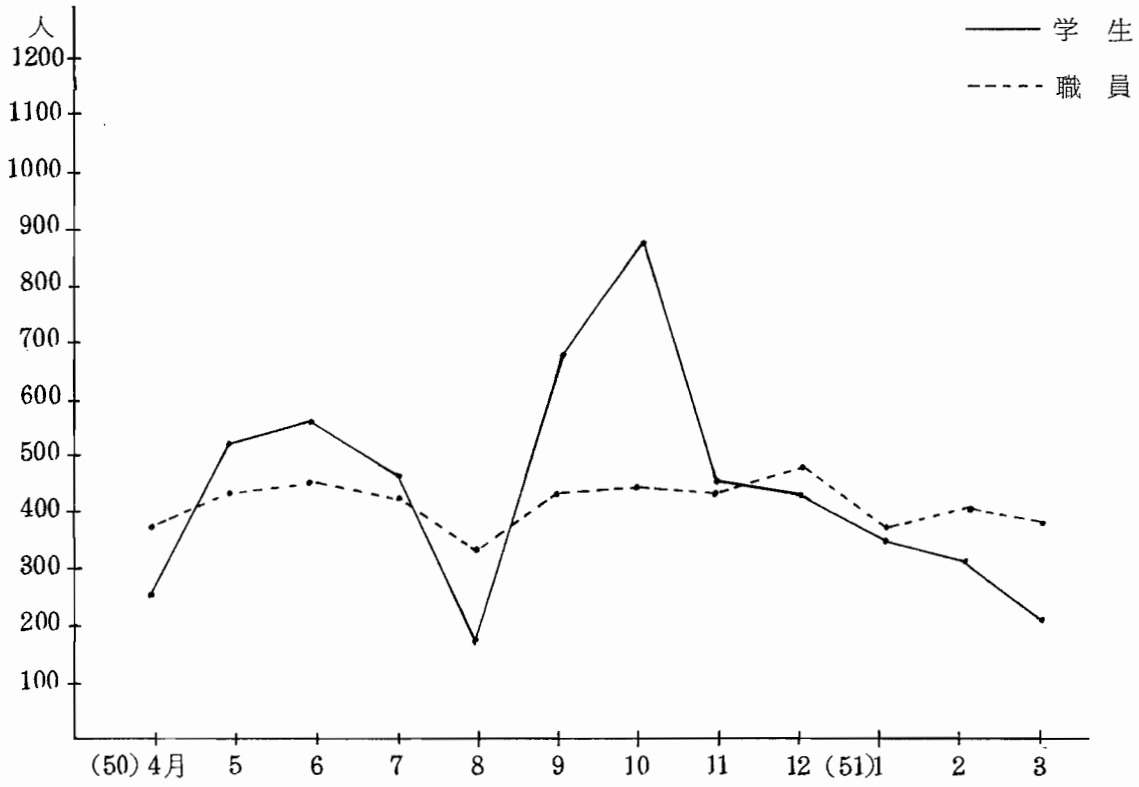
区 分		学 生					職 員						
		長 良		那 加		計	長 良		那 加		計		
		新規来談者	継続来談者	新規来談者	継続来談者		新規来談者	継続来談者	新規来談者	継続来談者			
相 談	精 神 的 面	132	456	8	156	752	20	45	5	24	94		
	身 体 的 面	内 科	239	355			594	31	53	1		85	
		外 科	30	5			35	3				3	
		整 形 外 科	26	11			37						
		眼 科	30	1			31						
		耳 鼻 咽 喉 科	27	10			37	1				1	
		皮 膚 科	15				15	1				1	
		歯 科	13	4			17						
		そ の 他	93	4			97	5				5	
計	605	846	8	156	1,615	61	98	6	24	189			
検 査	脳 波		8			8		1			1		
	心 電 図		1			1		1			1		
	血 圧		160			160		30			30		
	尿		253			253		19			19		
	血 液		64			64		17			17		
	そ の 他		17			17							
	計		503			503		68			68		
他 の 医 療 機 関 へ 紹 介	内 科	尿蛋白陽性のため		5			5		1			1	
		尿糖陽性のため											
		そ の 他		14			14		2			2	
	外 科		14			14							
	整 形 外 科		4			4							
	眼 科		14			14							
	耳 鼻 咽 喉 科		11			11							
	皮 膚 科		7			7							
	歯 科		4			4							
	そ の 他		9			9							
	計		82			82		3			3		
延 件 数		2,036		164		2,200		230		30		260	



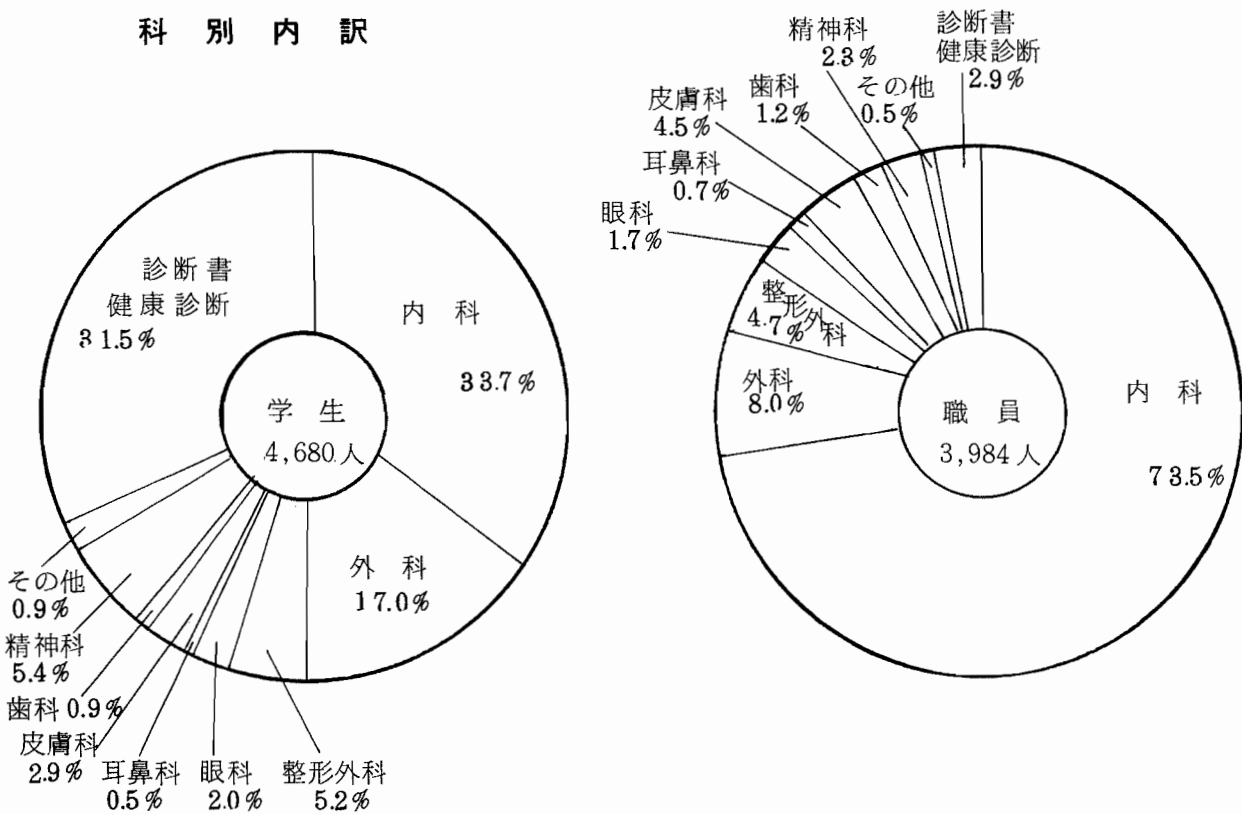
b) 昭和50年度 保健室利用状況

区 分		学 生			職 員			合 計	
		長良地区	那加地区	計	長良地区	那加地区	計		
利用者 総数	科 別 数	内 科	687	889	1,576	894	2,036	2,930	4,506
		外 科	451	342	793	127	191	318	1,111
		整 形 外 科	136	106	242	46	141	187	429
		眼 科	53	40	93	37	31	68	161
		耳 鼻 咽 喉 科	20	5	25	19	10	29	54
		皮 膚 科	36	101	137	59	119	178	315
		歯 科	25	19	44	29	17	46	90
		精 神 科	6	245	251		92	92	343
	そ の 他	25	18	43	7	13	20	63	
	そ の 他	91	1,385	1,476	2	114	116	1,592	
	計	1,530	3,150	4,680	1,220	2,764	3,984	8,664	
傷病所	講義・実験・実習中	218	202	420					
	課外活動中	277	90	367					
	そ の 他	944	1,473	2,417					
診 察	健 康 診 断	7	14	21	14	37	51	72	
	健 康 相 談	28	113	141	10	121	131	272	
	診 察	77	93	170	21	126	147	317	
	そ の 他	1		1		337	337	338	
	計	113	220	333	45	621	666	999	
検 査	血 庄	30	60	90	130	516	646	736	
	尿	108	157	265	20	72	92	357	
	血 液 ・ そ の 他	111	61	172	19	76	95	267	
	計	249	278	527	169	664	833	1,360	
健 康 相 談	身 体 的 面	182	147	329	136	156	292	621	
	精 神 的 面	2	156	158		2	2	160	
	計	184	303	487	136	158	294	781	
処 置	応 急 処 置	6	5	11		2	2	13	
	創 部 消 毒	404	371	775	82	212	294	1,069	
	咽 頭 処 置	1	4	5	16	10	26	31	
	軟 膏 塗 布	37	41	78	17	87	104	182	
	湿 布	169	117	286	40	133	173	459	
	洗 点 眼	28	29	57	20	21	41	98	
	投 薬	474	677	1,151	923	1,526	2,449	3,600	
	注 射	3	2	5	2	4	6	11	
	ベ ッ ト 休 養	102	19	121	8	9	17	138	
	そ の 他	10		10	13		13	23	
	計	1,234	1,265	2,499	1,121	2,004	3,125	5,624	
他 機 関 の 医 療 介 紹	健 康 診 断 の 為	1	24	25		15	15	40	
	精 密 検 査 の 為	15	17	32	4	5	9	41	
	治 療 の 為	24	26	50	4	10	14	64	
	そ の 他								
	計	40	67	107	8	30	38	145	
証 明 書 発 行	42	1,229	1,271	2	2	4	1,275		
救 急 薬 品 貸 出	46	81	127		1	1	128		
延 件 数	1,908	3,443	5,351	1,481	3,480	4,961	10,312		

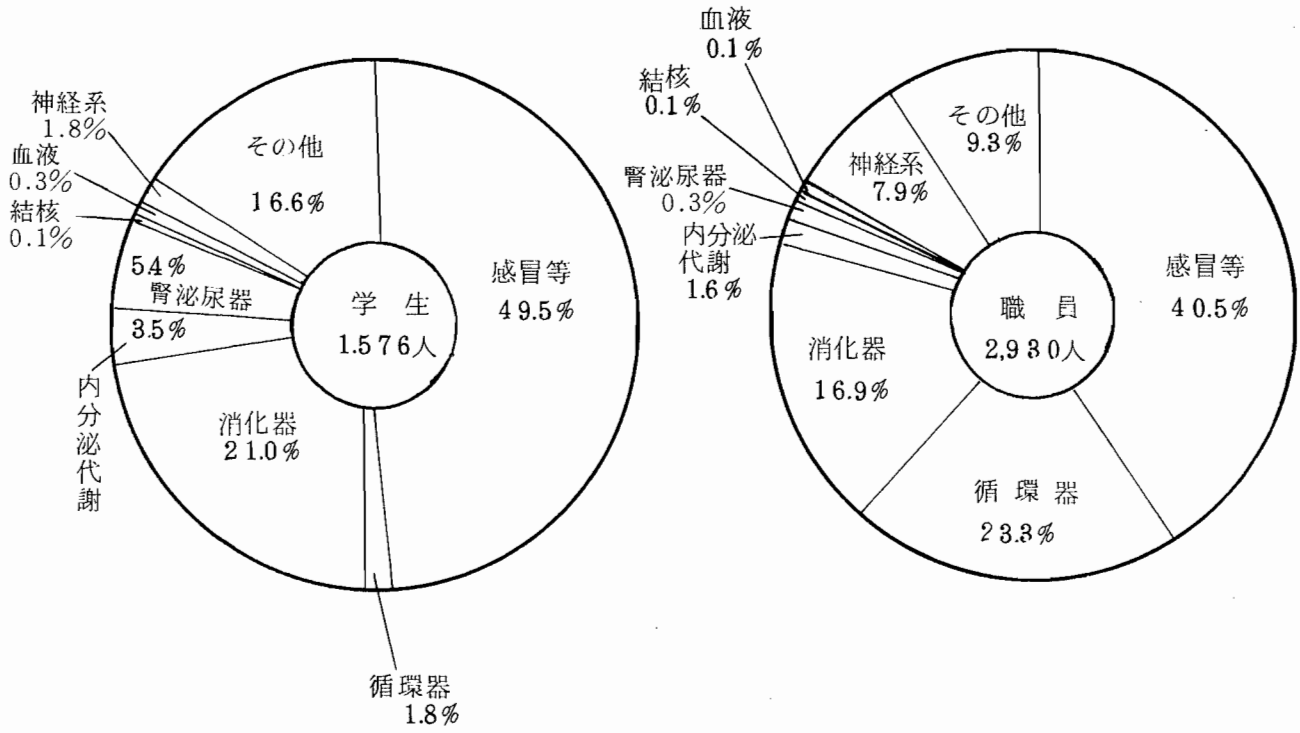
### 月別保健室利用状況



### 科別内訳



# 内科疾患内訳

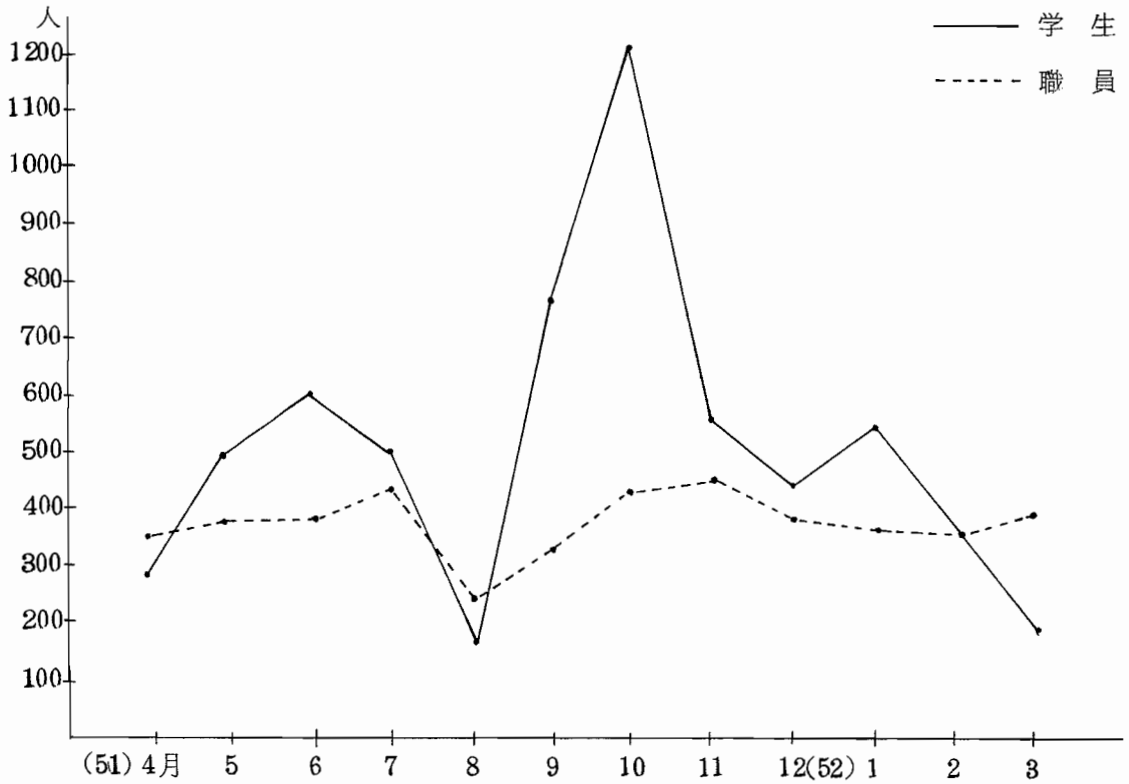


昭和51年度 保健室利用状況

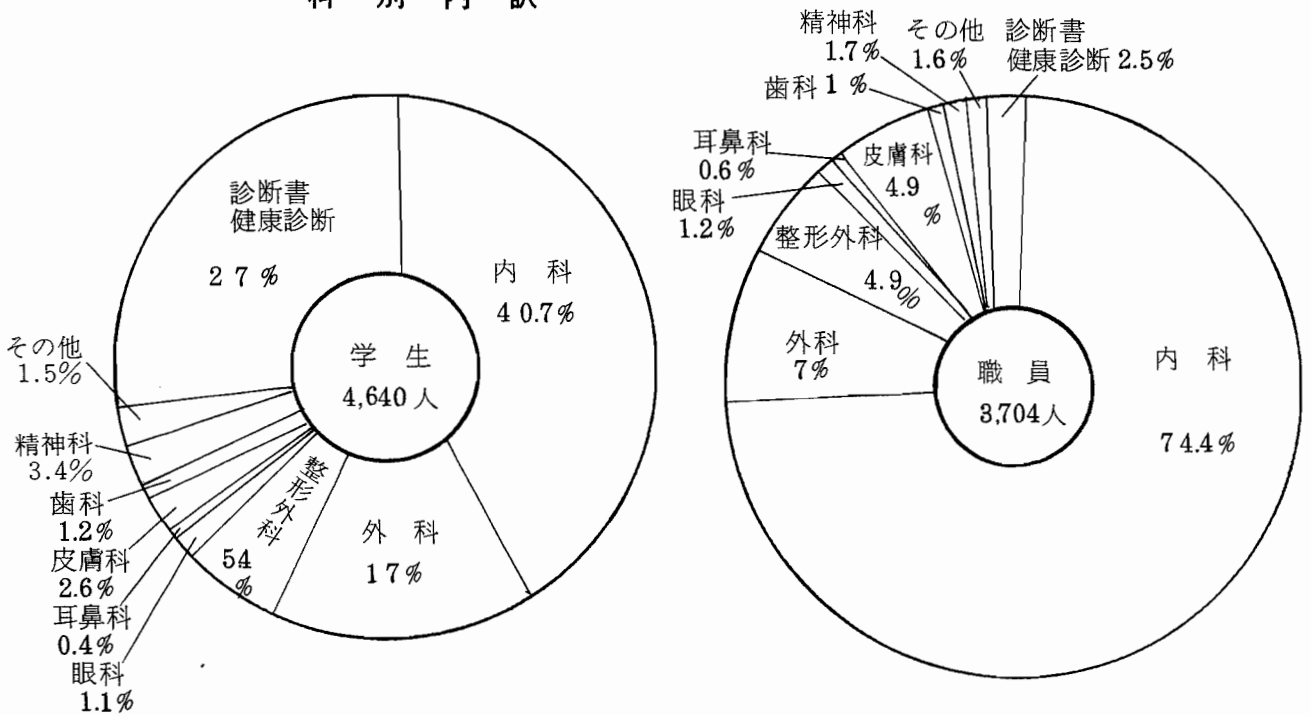
区 分		学 生			職 員			合 計	
		長良地区	那加地区	計	長良地区	那加地区	計		
利用者 総数	科 別 数	内 科	771	1,119	1,890	710	2,045	2,755	4,645
		外 科	437	352	789	123	138	261	1,050
		整 形 外 科	153	96	249	41	141	182	431
		眼 科	36	16	52	17	28	45	97
		耳 鼻 咽 喉 科	9	10	19	22	2	24	43
		皮 膚 科	39	81	120	47	142	189	309
		歯 科	28	29	57	27	10	37	94
		精 神 科	2	154	156		62	62	218
	そ の 他	43	25	68	31	27	58	126	
	そ の 他	270	970	1,240		91	91	1,331	
	計	1,788	2,852	4,640	1,018	2,686	3,704	8,344	
傷場 病所	講義・実験・実習中	224	164	388					
	課外活動中	216	73	289					
	そ の 他	1,078	1,645	2,723					
診 察	健 康 診 断	8	21	29	15	36	51	80	
	健 康 相 談	36	61	97	8	123	131	228	
	診 察	46	91	137	17	85	102	239	
	そ の 他	1		1	9	217	226	227	
	計	91	173	264	49	461	510	774	
検 査	血 庄	61	75	136	74	493	567	703	
	尿	171	287	458	13	127	140	598	
	血液・その他	154	120	274	45	103	148	422	
	計	386	482	868	132	723	855	1,723	
健相 談	身 体 的 面	245	153	398	91	156	247	645	
	精 神 的 面		128	128		1	1	129	
	計	245	281	526	91	157	248	774	
処 置	応 急 処 置	4	6	10	1	2	3	13	
	創 部 消 毒	372	377	749	82	144	226	975	
	咽 頭 処 置	3	3	6	7	20	27	33	
	軟 膏 塗 布	26	31	57	2	154	156	213	
	湿 布	207	99	306	24	125	149	455	
	洗 点 眼	23	10	33	3	21	24	57	
	投 薬	474	756	1,230	786	1,394	2,180	3,410	
	注 射	11	5	16		2	2	18	
	ベ ッ ト 休 養	102	26	128	3	5	8	136	
	そ の 他	3		3	17		17	20	
	計	1,225	1,313	2,538	925	1,867	2,792	5,330	
他機 関の 医療 介	健康診断の為		38	38		14	14	52	
	精密検査の為	20	11	31	3	11	14	45	
	治療の為	12	41	53	7	6	13	66	
	そ の 他								
	計	32	90	122	10	31	41	163	
	証 明 書 発 行	204	1,527	1,731	1	15	16	1,747	
	救 急 薬 品 貸 出	69	88	157		8	8	165	
	延 件 数	2,252	3,954	6,206	1,208	3,262	4,470	10,676	

その  
1.  
精  
3

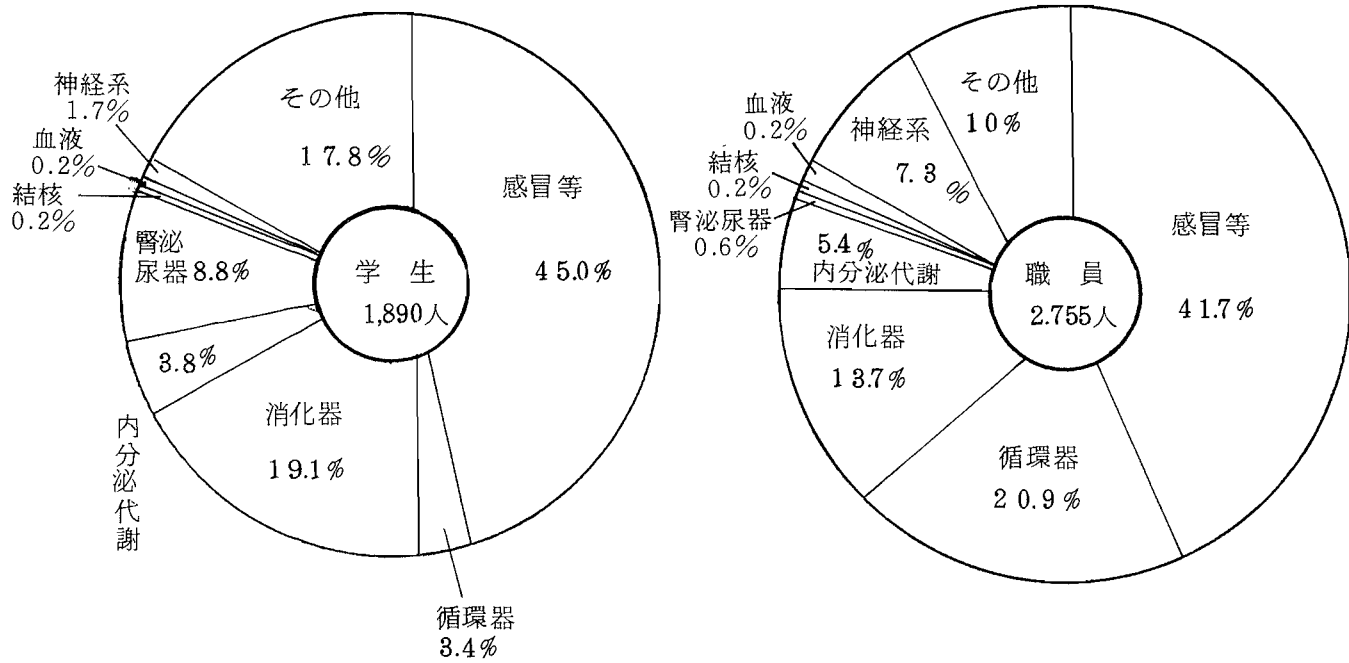
### 月別保健室利用状況



### 科別内訳



## 内科疾患内訳



## 学生の傷病発生場所について

	教養・教育学部	工・農学部	計
講義・実験・実習	224 (15)%	164 (9)%	388 (11)%
課外活動中	216 (14)	73 (4)	289 (9)
その他	1,078 (71)	1,645 (87)	2,723 (80)
計	1,518 (100)	1,882 (100)	3,400 (100)

## V 保健管理センター規則等

### 1) 岐阜大学保健管理委員会規則

(趣旨)

第1条 岐阜大学（岐阜大学工業短期大学部(以下「短期大学部」という。)を含む。(以下「本学」という。)における学生及び職員の保健管理に関する基本的な事項を審議するため、本学に岐阜大学保健管理委員会（以下「委員会」という。）を置き、委員会に関し必要な事項は、この規則の定めるところによる。

(組織)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

1. 学長
2. 各学部長、教養部長及び短期大学部主事
3. 医学部附属病院長
4. 保健管理センター所長
5. 事務局長
6. 学生部長
7. その他学長が必要と認める者

2 前項第7号に規定する委員は、学長が委嘱し、その任期は、1年とし、再任を妨げない。

(審議事項)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

1. 保健管理の基本方針に関する事項
2. 環境衛生の維持改善に関する事項
3. 保健管理センターの組織及び運営に関する重要事項
4. 保健管理センターの所長及び教官の人事に関する事項
5. その他保健管理に関する重要事項

2 前項第4号に掲げる事項について審議する場合には、前条第1項第5号及び第7号に規定する委員を除くものとする。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、学長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(委員以外の者の出席)

第5条 委員会が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させることができる。

(会議)

第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ会議を開くことができない。

(専門委員会)

第7条 委員会は、特定の事項を調査審議するため、専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会の委員は、委員長が委嘱する。

(幹事)

第8条 委員会に幹事を置き、庶務部長及び学生部次長をもって充てる。

2 幹事は、委員会の事務を処理する。

附 則

この規則は、昭和49年7月16日から施行する。

## 2) 岐阜大学保健管理センター規則

(趣 旨)

第1条 岐阜大学保健管理センター（以下「保健管理センター」という。）は、岐阜大学（岐阜大学工業短期大学部（以下「短期大学部」という。）を含む。以下「本学」という。）における学生及び職員の心身の健康の保持増進を図るものとし、保健管理センターの組織及び運営に関し必要な事項は、この規則の定めるところによる。

(業 務)

第2条 保健管理センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

1. 学内の保健計画の立案について指導援助すること。
2. 定期及び臨時の健康診断の業務を行うこと。
3. 健康相談に応ずること。
4. 救急処置を行うこと。
5. 健康診断の事後措置等健康の保持増進について必要な指導を行うこと。
6. 学内の環境衛生及び伝染病予防について指導援助すること。
7. 保健管理の充実向上のための調査・研究を行うこと。
8. その他健康の保持増進について必要な専門的業務を行うこと。



(組 織)

第3条 保健管理センターに次の職員を置く。

1. 所 長
2. 保健管理医 ✓
3. カウンセラー ✓
4. 技術職員
5. 事務職員

(分 室)

第4条 保健管理センターには、必要に応じ分室を置くことができる。

- 2 分室に関し必要な事項は、別に定める。

(所長及び保健管理医等)

第5条 所長は、本学の教授をもって充て、保健管理センターの業務を掌理する。

- 2 保健管理医及びカウンセラーは、本学の教授、助教授又は講師をもって充て、保健管理に関する専門的業務を行う。
- 3 前2項に規定する所長及び、教官の選考に関し必要な事項は、別に定める。

(委 員 会)

第6条 保健管理センターに保健管理センター運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

- 2 委員会は、所長の諮問に応じ、保健管理センターの運営に関する具体的な方策その他必要な事項を審議する。

(委員会の組織)

第7条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

1. 所 長
  2. 保健管理医
  3. カウンセラー
  4. 各学部、教養部及び短期大学部から選出された教官各1人
  5. 庶務部長
  6. 学生部次長
  7. その他委員会が必要と認める者
- 2 前項第4号及び第7号に規定する委員は、学長が委嘱し、その任期は、1年とし、再任を妨げない。

(会 議)

第8条 所長は、委員会を招集し、その議長となる。

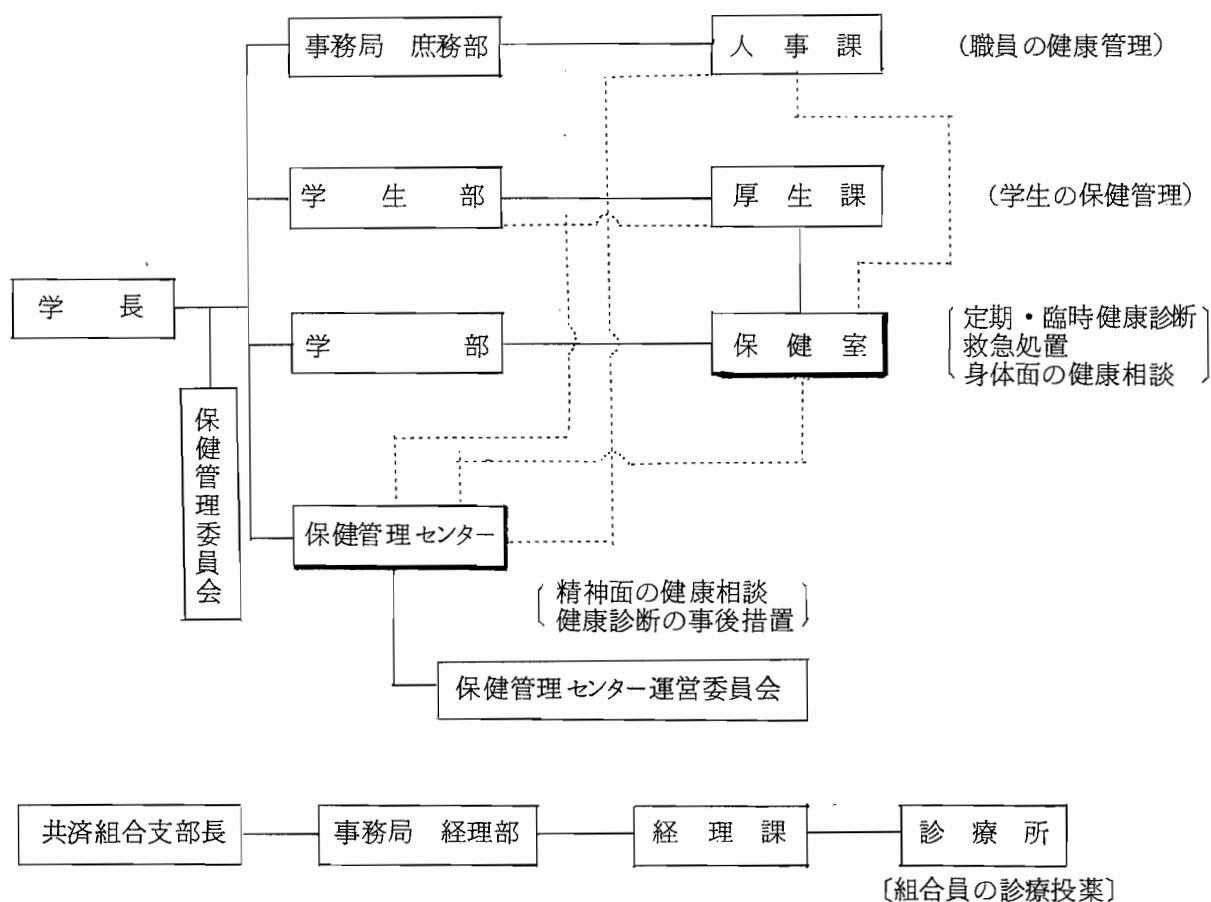
(事務)

第9条 保健管理センターに関する事務は、当分の間、学生部厚生課において処理する。

附 則

1. この規則は、昭和49年7月16日から施行する。
2. 第2条の規定にかかわらず、当分の間、同条第2号に規定する業務のうち職員に係る部分については庶務部人事課、学生に係る部分については学生部厚生課においてそれぞれ処理するものとする。

### 3) 保健管理機構略図



#### 4) 学医及び学生相談室員の相談日割

##### o 保健管理センター・学生相談室

曜	科 目	担 当	相 談 時 間	場 所
月	食 物 学	草 野 教 授	15:00～17:00	保健管理センター
	心 理 学	石 黒 教 授	13:20～15:00	〃
	精 神 科	田 中 助 教 授	9:00～16:00	〃
火	〃	難 波 教 授	13:30～15:30	(医 学 部)
水	〃	田 中 助 教 授	9:00～16:00	保健管理センター
	内 科	菊 地 学 医	13:30～15:00	(那加保健室)
木	人 格 心 理 学	丸 井 教 授	13:00～16:00	保健管理センター
	内 科	清 水 学 医	13:00～14:30	保健管理センター 長 良 保 健 室
	精 神 科	田 中 助 教 授	10:00～13:00	(那加保健室)
金	生 理 学 衛 生 学	長 沢 教 授	13:00～16:00	保健管理センター
	内 科	加 藤 学 医	13:30～15:00	(医 学 部)
	精 神 科	田 中 助 教 授	9:00～16:00	保健管理センター
土	〃	〃	10:00～12:00	(那加保健室)

利用する者は、前もってインターカーに申し出ること。(電話でも可)

##### o 長 良 保 健 室

月	内 科	杉 山 学 医	13:30～16:30
木	〃	清 水 学 医	13:00～16:00

##### o 那 加 保 健 室

水	内 科	菊 地 学 医	13:30～16:30
木	〃	赤 座 学 医	14:00～17:00
	精 神 科	田 中 助 教 授	10:00～13:00
土	〃	田 中 助 教 授	10:00～12:00

##### o 司 保 健 室

金	内 科	加 藤 学 医	13:30～16:00
---	-----	---------	-------------

## 5) 関 係 職 員

### ○ 保健管理委員会委員

学 長	館 正 知
教 育 学 部 長	廣 瀬 弘
医 学 部 長	西 浦 常 雄
工 学 部 長	立 木 正 泰
農 学 部 長	友 枝 幹 夫
教 養 部 長	大 地 登
工業短期大学部主事	久 野 馨
医学部附属病院長	高 橋 善 彌 太
保健管理センター所長	三 浦 清
事 務 局 長	小 川 峻 治
学 生 部 長	藤 村 一

### ○ 保健管理センター運営委員会委員

保健管理センター所長	三 浦 清
保健管理センター助教授	田 中 實
教育学部教授	草 野 愛 子
医学部教授	森 俊 二
工学部助教授	清 水 宏 晏
農学部教授	上 野 良 光
教養部教授	稲 田 俊 志
工業短期大学部教授	下 田 正 夫
教育学部教授	長 沢 弘
教育学部教授	丸 井 澄 子
医学部教授	難 波 益 之
医学部附属病院講師	清 水 勝
医学部附属病院講師	加 藤 俊 彦
医学部附属病院助手	菊 地 正 邦
庶 務 部 長	吉 田 剛 正
学 生 部 次 長	小 山 田 隆 一

○保健管理センター

所 長	医 学 部 教 授	三 浦 清
保 健 管 理 医	助 教 授	田 中 實
学 生 相 談 室 員	教 育 学 部 教 授	長 沢 弘
”	教 育 学 部 教 授	丸 井 澄 子
”	教 育 学 部 教 授	草 野 愛 子
”	医 学 部 教 授	難 波 益 之
医 師 (学 校 医)	医 学 部 附 属 病 院 講 師	清 水 勝
”	医 学 部 附 属 病 院 講 師	加 藤 俊 彦
”	医 学 部 附 属 病 院 助 手	菊 地 正 邦
保 健 婦		中 尾 け さ じ

○長良保健室

医 師 (学 校 医)	医 学 部 附 属 病 院 講 師	清 水 勝
”	開 業 医	杉 山 甫 成
看 護 婦	厚 生 課	丹 羽 美 穂 子
”	教 育 学 部	山 中 栄 子

○那加保健室

医 師 (学 校 医)	医 学 部 附 属 病 院 助 手	菊 地 正 邦
”	開 業 医	赤 座 斎
看 護 婦	厚 生 課	高 松 茂 子
”	工 学 部	栗 本 良 子
”	農 学 部	林 垣 可 代 子

○司保健室

医 師 (学 校 医)	医 学 部 附 属 病 院 講 師	加 藤 俊 彦
-------------	-------------------	---------

※ 保健管理センターに関する事務担当課，学生部厚生課

厚 生 課 長	文 部 事 務 官	伊 藤 秀 男
保 健 係 長	文 部 事 務 官	瀬 尾 実
係 員	事 務 補 佐 員	河 内 桂 子

# 昭和52年度 定期健康診断実施結果

(学部学生及び短期大学部学生)

学部	学年	在学学生数	休学者数		対象者数	受診者数	受診率	未受診者数	エックス線撮影				内科診察				尿検査				再検査未受検者														
			疾病によるもの	疾病以外によるもの					受診者数	要直接撮影者数	要観察者数	要治療者数	受診者数	間接撮影による心臓有所見者数	総打診による有所見者数	正常者数	要観察者数	要治療者数	未受診者数	内科診察		検査件数	血液検査・その他	受検者数	要再検者数	要観察者数	要治療者数	再検査未受検者							
教養部	1	946	0	5	941	906	96.3%	35	6	0	0	905	0	8			887	60			2														
	2	991	1	17	973	849	87.3	124	6	1	1	847	0	19			838	68			3														
	計	1,937	1	22	1,914	1,755	91.7	159	12	1	2	1,752	0	27	27	16	2	1,725	128	89	0	5	4	0	0										
教育学部	3	833	0	0	833	813	94.0	20	3	2	0	310	0	8			300	18			0														
	4	888	2	3	883	849	91.1	34	3	0	0	349	0	12			347	19			4														
	計	721	2	3	716	662	92.4	54	6	2	0	659	0	20	17	3	0	647	37	4	0	10	4	3	0	1									
医学部	1	76	0	0	76	74	97.4	2	4	0	0	74	1	2			74	1			1														
	2	88	0	0	88	81	92.0	7	2	0	0	81	0	5			81	6			0														
	計	83	0	0	83	81	97.6	2	0	0	0	81	0	0			81	1			2														
工学部	4	76	0	0	76	76	100.0	0	4	0	0	76	0	3			76	2			0														
	計	323	0	0	323	312	96.6	11	10	0	0	312	2	10	12	0	0	312	10	0	0	3	1	0	1										
	3	323	0	0	323	296	91.6	27	1	0	0	296	0	4			296	9			2														
農学部	4	354	0	6	348	311	89.4	37	0	0	0	311	0	5			311	10			3														
	計	677	0	6	671	607	90.5	64	1	0	0	607	0	9	9	0	0	607	19	5	1	5	2	0	0										
	3	204	0	2	202	193	95.5	9	2	0	1	193	0	3			193	11			1														
短期大学部	4	224	0	3	221	204	92.3	17	0	0	0	203	0	4			203	5			4														
	計	428	0	5	423	397	93.9	26	2	0	1	396	0	7	6	1	0	396	16	4	0	5	2	0	0										
	3	4086	3	36	4047	3733	92.1	314	80	0	2	3,726	2	73	65	10	0	3,687	210	52	1	11	22	12	0	2									
合計	1	156	0	2	154	109	70.8	45	0	0	0	109	0	0																					
	2	164	1	3	160	106	66.3	54	1	0	1	106																							
	計	578	1	28	544	380	60.7	214	1	0	1	221	1	1	1	1	0	3,947	3	74	66	11	0	0	75	34	8	3,687	210	52	1	11	22	12	0

## 定期健康診断

検査項目		検査期日	入試健診	・	・	・	・	・	・	・	・	・
身	長 (cm)		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
体	重 (kg)		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
胸	囲 (cm)		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
座	高 (cm)		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
眼	視 力	右	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		左	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	色 覚											
	屈折異常											
眼 疾												
耳	聴 力	右										
		左										
耳 疾												
鼻 及 び 咽 喉												
皮 膚 疾 患												
エックス線	番 号											
	所 見											
ツB 反C 及びG	ツ 反											
	BCG接種年月											
	陽 転 年 月											
血 圧 測 定												
尿	蛋 白											
	糖											
	ウロビリノーゲン											
栄 養												
脊 柱												
胸 部												
そ の 他												
概 評												

## 臨時健康診断

検査項目		健康診断名	検査期日	・	・	・	・	・	・	・	・	・
エックス線	番 号											
	所 見											
血 圧 測 定												
尿	蛋 白											
	糖											
	ウロビリノーゲン											
概 評												

学部		学科		氏名	
----	--	----	--	----	--

品名	規格	数量	設置場所
8ミリ映写機	エルモST-800	1	保健管理センター
8ミリ撮影機	エルモ600S	1	〃
スクリーン	三脚スタンド式	1	〃
複写機	東芝BM-1000	1	〃
テレビ	ソニーKV-1300	1	〃
ビデオコーダー	ソニーSL-7100	1	〃
人工蘇生器	NKP-I型救急用自動	1	〃
精密照度計	LX-300	1	〃
アスマン吸気湿度計	シバタ8031-05	1	〃
卓上電子計算機	シャープCS227S	1	〃
応接セット		2	〃
カセットテープレコーダ	東芝RT310F	1	〃
ストップウォッチ		6	長良・那加・センター
身長計		3	長良・那加・司保健室
体重計		4	〃
座高計		3	〃
視力検査装置	電気回転式	5	長良・那加保健室
視力器	スタンド式移動台付	2	〃
水銀血圧計		10	長良・那加・司・センター
握力計		4	長良・那加保健室
背筋力計		1	那加保健室
肺活量計		3	長良・那加保健室
寝台		7	長良・那加・司・センター
器機戸棚		3	長良・那加保健室
器機卓子		4	〃



(付 録)

## 学生教育研究災害傷害保険加入状況

52.5.20 学 生 部

学部	区分	学年	1	2	3	4	5	6	計
教育学部	学 生 数		335	357	333	388			1,413
	既 加 入 者 数			342	131	149			622
	52年4月加入者数		333		22				355
	加 入 率		99.4	95.8	45.9	38.4			69.1
医学部	学 生 数		84	83	77	88	83	76	491
	既 加 入 者 数			79		1		1	81
	52年4月加入者数		81						81
	加 入 率		96.4	95.2		1.1		1.3	33.0
工学部	学 生 数		317	320	323	355			1,315
	既 加 入 者 数			299	104	127			530
	52年4月加入者数		310		92	18			420
	加 入 率		97.8	93.4	60.7	40.8			72.2
農学部	学 生 数		210	231	202	226			869
	既 加 入 者 数			203	2	8			213
	52年4月加入者数		194		6	※(1)8			208
	加 入 率		92.4	87.9	4.0	3.5			48.4
計	学 生 数		946	991	935	1,057	83	76	4,088
	既 加 入 者 数			923	237	285		1	1,446
	52年4月加入者数		918		120	26			1,064
	加 入 率		97.0	93.1	38.2	29.4		1.3	61.4
医研究科	学 生 数		9	8	7	8			32
	既 加 入 者 数			3	1				4
	52年4月加入者数		9						9
	加 入 率		100.0	37.5	14.3				40.6
工研究科	学 生 数		51	64					115
	既 加 入 者 数			59					59
	52年4月加入者数		48						48
	加 入 率		94.1	92.2					93.0
農研究科	学 生 数		39	40					79
	既 加 入 者 数			37					37
	52年4月加入者数		30	1					31
	加 入 率		76.9	95.0					86.1
教専攻科	学 生 数		6						6
	52年4月加入者数		5						5
	加 入 率		83.3						83.3
計	学 生 数		105	112	7	8			232
	既 加 入 者 数			99	1				100
	52年4月加入者数		92	1					93
	加 入 率		87.6	89.3	14.3				83.2

※ ( ) 内研究生

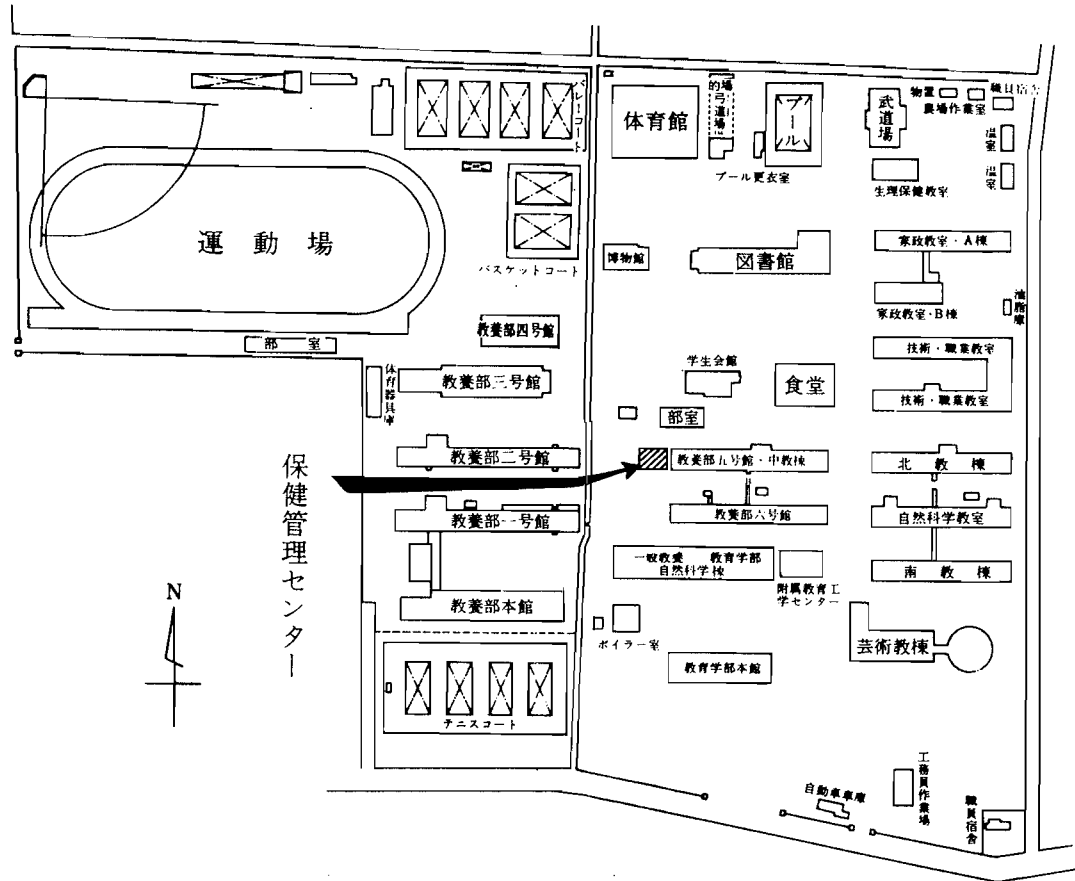
学生教育研究災害傷害保険適用一覧

昭51・52年度

事故発生 年 月	学部・学科	学年	傷 病 名	講義・実験 実習・体育 実技の別	治療期間 (日)	保険金額 (円)
51. 4	農学研究科	1	第1腰椎圧迫骨折	実 習	入院 67 通院 65	30,000
51. 7	工学研究科 土木工学科	1	左拇指圧挫創	実 験	通院 8	7,000
51.10	医 学 部 医 進 課 程	1	左臉裂傷・化膿	体 育 実 技	入院 12 通院 7	10,000
51.11	農学研究科	1	左拇指球挫創兼皮下血腫	実 験 中	通院 14	10,000
51.11	教育学部 美術工芸学科	3	左背部挫傷 右手関節捻挫	実 習 中	“ 13	7,000
51.12	史 “ 学 科	1	右アキレス腱断裂	体 育 実 技	入院 29	10,000
51.12	工 学 部 工業化学科	4	右示指・左拇指切創 右手掌切創	実 験 中	通院 7	7,000
51.12	工学研究科	1	左手背切創	実 験 中	“ 7	7,000
52. 1	工 学 部 合成化学科	4	左示指・中指切創	実 験 中	“ 21	10,000
52. 2	“ “ 学 科 土木工学科	1	左拇指切創	体 育 実 技	“ 11	7,000
52. 5	“ “ 学 科 土木工学科	2	左足裂傷	体 育 実 技	“ 7	7,000
52. 6	農 学 部 林 学 科	4	左眼球の傷	体 育 実 技	“ 9	7,000
52. 6	工 学 部 工業化学科	4	左親指・左人指切傷	実 験 中	“ 7	7,000
52. 7	農学研究科	1	左第2指切傷	実 験 中	“ 12	7,000
52.10	教育学部 社会学科	1	右手指第1指 骨不全骨折	体 育 実 技	“ 36	20,000
52.10	“ “ 学 科 体育学科	2	腰椎椎間板損傷	体 育 実 技	“ 57	20,000
53. 1	“ “ 学 科 体育学科	2	右足首捻挫 右膝関節捻挫	体 育 実 技	“ 14	10,000

# 保健管理センター位置図

( 岐阜市長良城之内 1466  
TEL 0582 (31) 4161 内線387 )



岐阜大学保健管理センター年報 第3号

昭和53年 3月30日発行

編集  
発行

岐阜大学保健管理センター

岐阜市長良城之内 1466